

**第6次江差町総合計画に向けた
アンケート調査結果報告書**

江差町

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の設計	1
(3) 報告書の見方	1
2. 調査の結果	2
あなた自身について（回答者属性）	2
地域での暮らしについて	6
まちの政策について	25
町政について	33
まちの活性化について	36
ご意見	51

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、現在策定に取り組んでいる第6次江差町総合計画の基礎調査として、江差町の現状や課題に対する町民の皆様からの率直なご意見等をお聞かせいただき、第6次江差町総合計画の総括や今後の施策検討に活用するために実施するもの。

(2) 調査の設計

調査地域	江差町全域
調査対象	町内在住の18歳以上の男女
調査方法	郵送配付・回収
有効対象者数	2,000名
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査期間	平成31年1月～平成31年2月
有効回収数	781票
有効回収率	39.1%

(3) 報告書の見方

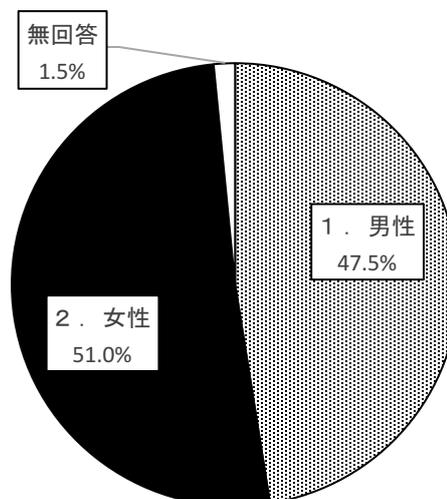
- 「割合」は、各項目の回答数を回答総数で除し、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。このため、割合の合計が100%にならないことがある。
- 複数回答の質問の「回答者数」は、回答総数ではなく回答者総数を表示。また、各選択肢の「割合」は、回答数を回答総数ではなく回答者総数で除しており、「割合」の「全体」は100%を超えるため斜線表示としている。
- 回答者を限定する設問（特定の設問において特定の選択肢を回答した方を対象としているため）は、回答者数が調査対象者数を下回る。
- 設問ごとの単純集計のほかに、属性ごとの傾向が見られたクロス集計を掲載している。また、クロス集計は、属性無回答者を除外して集計しているため、回答者総数と一致しない。
- 自由回答については、可能な限り原文を掲載しているが、判読不能なもの、明らかな個人攻撃、数ページにわたるご意見については、本報告書には掲載していない。個別に拝読し、別途町政検討の参考とする。

2. 調査の結果

あなた自身について(回答者属性)

1. 性別

	人数(人)	割合(%)
1. 男性	371	47.5
2. 女性	398	51.0
無回答	12	1.5
全体	781	100.0



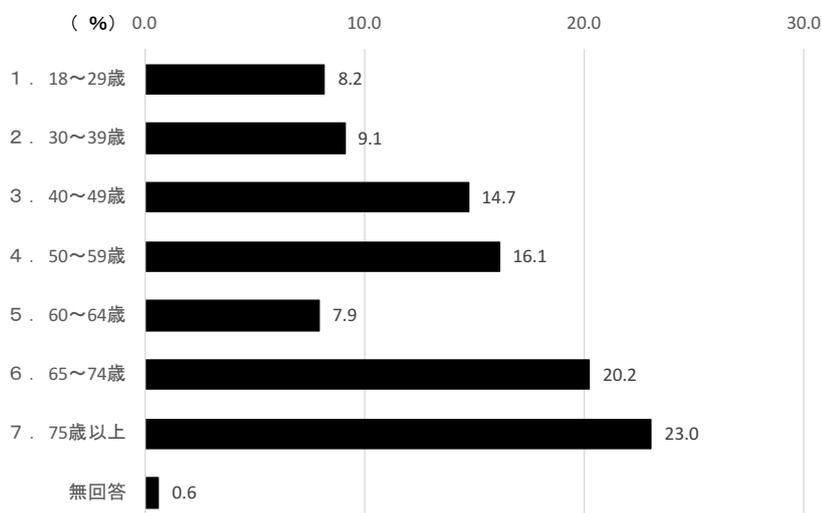
回答者の性別は、女性の割合のほうが高くなっているが、おおむね同程度の割合となっている。

2. 年齢

	人数(人)	割合(%)
1. 18~29 歳	64	8.2
2. 30~39 歳	71	9.1
3. 40~49 歳	115	14.7
4. 50~59 歳	126	16.1
5. 60~64 歳	62	7.9
6. 65~74 歳	158	20.2
7. 75 歳以上	180	23.0
無回答	5	0.6
全体	781	100.0

平成 27 年度国勢調査 の 20 歳以上人口構成	
	599 人※(8.4%)
	835 人(11.7%)
	1,100 人(15.4%)
	1,098 人(15.4%)
	656 人(9.2%)
	1,264 人(17.7%)
	1,575 人(22.1%)
	7,127 人(100.0%)

※国勢調査は5歳階級別人口で公表されているため、20~29 歳の人口。



回答者の年齢層は、75 歳以上の割合が高くなっている。
回答者の年齢層別の構成比は、国勢調査に見られる実人口の構成比に近くなっており、年齢層という観点からは、町の縮図に近い構成となっている。

3. 江差町に住んで何年になるか

	人数(人)	割合(%)
1. 江差町で生まれ、ずっと江差町に住んでいる	219	28.0
2. 江差町で生まれ、その後町外に引っ越したが、再び江差町に住んで()年になる	172	22.0
3. 江差町外で生まれ、転入して()年になる	381	48.8
無回答	9	1.2
全体	781	100.0

Uターン後の年数

	人数(人)	割合(%)
5年未満	15	8.7
5年以上 10年未満	10	5.8
10年以上 20年未満	38	22.1
20年以上	102	59.3
無回答	7	4.1
全体	172	100.0

転入後年数

	人数(人)	割合(%)
5年未満	106	27.8
5年以上 10年未満	31	8.1
10年以上 20年未満	41	10.8
20年以上	199	52.2
無回答	4	1.0
全体	381	100.0

居住年数※

	人数(人)	割合(%)	うちUターンの割合(%)	うち町外出身の割合(%)
5年未満	121	15.5	12.4	87.6
5年以上 10年未満	41	5.2	24.4	75.6
10年以上 20年未満	79	10.1	48.1	51.9
20年以上	538	68.9	18.9	37.0
無回答	2	0.3		
全体	781	100.0		

※江差町出身の転入者については、転入後の年数のみを数える。

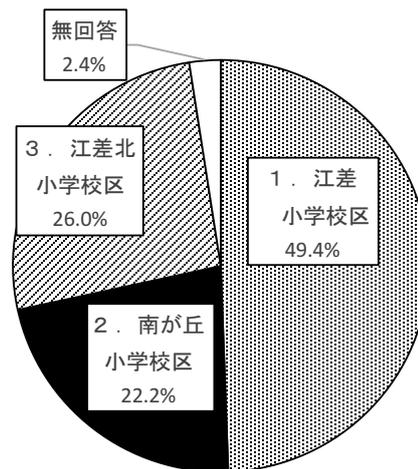
※20年以上居住の方には、転出歴なしの江差町出身者219名が含まれるため、Uターンと町外出身の割合の合計は100%には満たない。

回答者のうち、20年以上町内に居住している方の割合が68.9%となっている。

居住年数ごとにUターン、町外出身の別でみると、居住年数が少なくなるほどUターンの割合が少なくなっており、近年Uターンが減少傾向にある可能性がうかがえる。

4. 居住地

	人数(人)	割合(%)
1. 江差小学校区	386	49.4
2. 南が丘小学校区	173	22.2
3. 江差北小学校区	203	26.0
無回答	19	2.4
全体	781	100.0



回答者の居住地は、江差小学校区が最も多く、全体の約半数(49.4%)となっています。

5. 職業

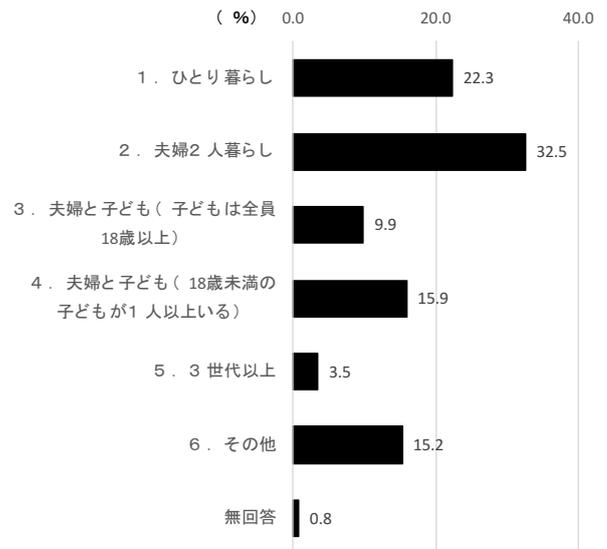
	人数(人)	割合(%)
1. 農林業	24	3.1
2. 漁業	11	1.4
3. 製造業・建設業	59	7.6
4. 運輸業・通信業など	15	1.9
5. 商業・サービス業・金融業など	111	14.2
6. 教育・福祉・医療関係	83	10.6
7. 公務、団体など勤務	118	15.1
8. 家事専業	88	11.3
9. 学生	20	2.6
10. 無職(退職された方も含む)	216	27.7
11. その他	20	2.6
無回答	16	2.0
全体	781	100.0



回答者のうち 65 歳以上が約4割を占めることもあり、無職の割合が最も高くなっている。

6. 家族構成

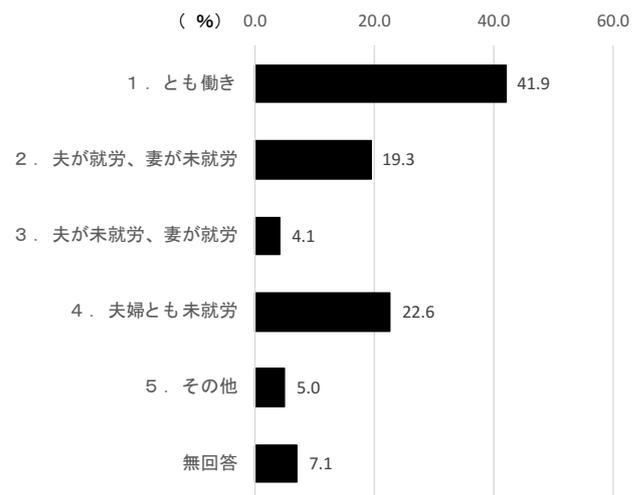
	人数(人)	割合(%)
1. ひとり暮らし	174	22.3
2. 夫婦2人暮らし	254	32.5
3. 夫婦と子ども(子どもは全員18歳以上)	77	9.9
4. 夫婦と子ども(18歳未満のこどもが1人以上いる)	124	15.9
5. 3世代以上	27	3.5
6. その他	119	15.2
無回答	6	0.8
全体	781	100.0



6-1. 夫婦の就労状況

(「6. 家族構成」において選択肢2～5を回答した方を対象)

	人数(人)	割合(%)
1. とも働き	202	41.9
2. 夫が就労、妻が未就労	93	19.3
3. 夫が未就労、妻が就労	20	4.1
4. 夫婦とも未就労	109	22.6
5. その他	24	5.0
無回答	34	7.1
全体	482	100.0



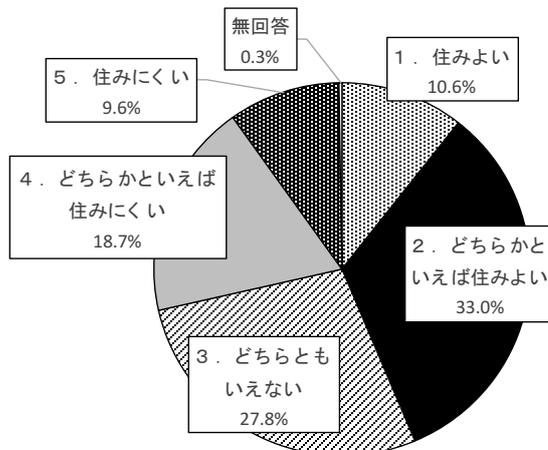
回答者のうち、いわゆる核家族が 58.3%（「夫婦2人暮らし」と「夫婦と子ども(子どもは全員18歳以上)」、「夫婦と子ども(18歳未満のこどもが1人以上いる)」の合計)を占める。また、核家族及び3世代以上の世帯のうち、41.9%がとも働きとなっている。

地域での暮らしについて

7. 総合的にみた江差町の住みごころ

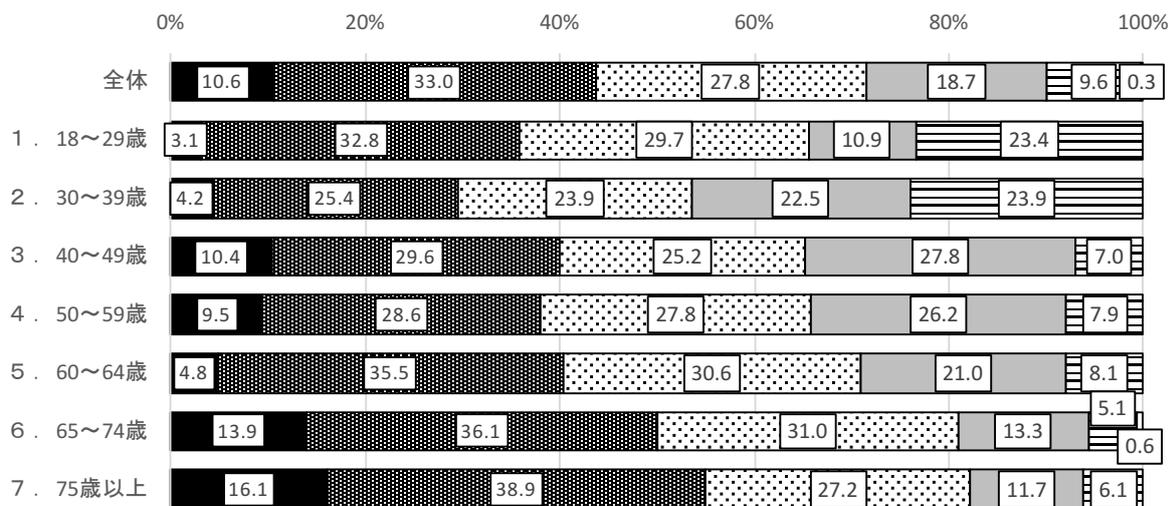
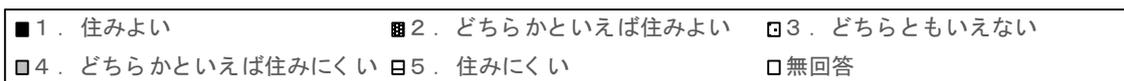
【全体】

	人数(人)	割合(%)
1. 住みよい	83	10.6
2. どちらかといえば住みよい	258	33.0
3. どちらともいえない	217	27.8
4. どちらかといえば住みにくい	146	18.7
5. 住みにくい	75	9.6
無回答	2	0.3
全体	781	100.0



【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)					
		1. 住みよい	2. どちらかといえば住みよい	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば住みにくい	5. 住みにくい	無回答
全体	781	10.6	33.0	27.8	18.7	9.6	0.3
1. 18～29歳	64	3.1	32.8	29.7	10.9	23.4	0.0
2. 30～39歳	71	4.2	25.4	23.9	22.5	23.9	0.0
3. 40～49歳	115	10.4	29.6	25.2	27.8	7.0	0.0
4. 50～59歳	126	9.5	28.6	27.8	26.2	7.9	0.0
5. 60～64歳	62	4.8	35.5	30.6	21.0	8.1	0.0
6. 65～74歳	158	13.9	36.1	31.0	13.3	5.1	0.6
7. 75歳以上	180	16.1	38.9	27.2	11.7	6.1	0.0



回答者のうち、住みよいと思っている方の割合(「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計)が43.6%となっている。年齢層ごとにみると、65歳以上のほうが65歳未満よりも、住みよいと思っている方の割合が高い傾向がある。

8. この10年ほどで、江差町は住みよくなったか(転入後10年未経過の方は、転入時との比較)

【全体】

	人数(人)	割合(%)
1. 非常に住みよくなった	20	2.6
2. 多少住みよくなった	95	12.2
3. あまり変わらない	386	49.4
4. やや住みにくくなった	182	23.3
5. 非常に住みにくくなった	52	6.7
6. 最近転入したのでよくわからない	38	4.9
無回答	8	1.0
全体	781	100.0

8-1. 住みにくくなったと思う理由

(「8. この10年ほどで～」において選択肢4または5を回答した方を対象)

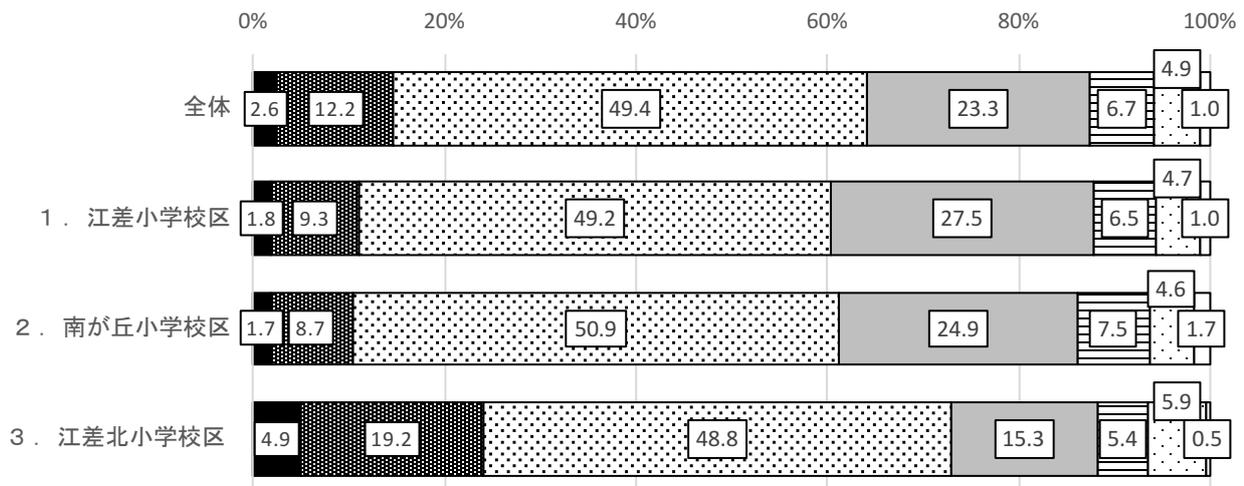
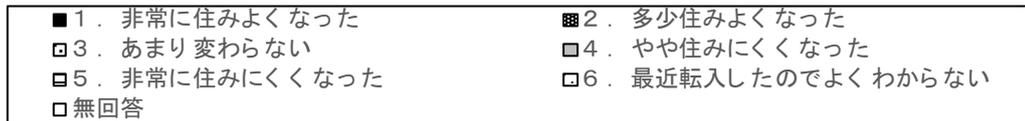
	人数(人)	割合(%)
1. 集会所や寺社など地域の施設の管理が十分でなく、荒れてきている	29	12.4
2. 道路の維持が十分でなく、荒れてきている	43	18.4
3. 土地や山林、河川が十分に管理されず、荒れてきている	33	14.1
4. 有害鳥獣が増加し、一次産業が維持できなくなっている	12	5.1
5. 働く場所が減った	122	52.1
6. 地域に活気がなくなっている	176	75.2
7. 地域の伝統行事や芸能が衰退してきた	50	21.4
8. ごみの不法投棄が増えた	17	7.3
9. 空き巣などの犯罪が増加した	1	0.4
10. 地域で冠婚葬祭などの助け合いがなくなった	35	15.0
11. 災害の際にご近所が頼りにならなくなった	31	13.2
12. 空き家が増加している	134	57.3
13. 公共交通が不便になった	111	47.4
14. 買い物できるところが減り、不便になった	137	58.5
15. 医療や福祉が縮小し、老後が不安になった	149	63.7
16. その他	21	9.0
無回答	1	0.4
全体	234	

回答者のうち、住みよくなったと回答した方の割合(「非常に住みよくなった」と「多少住みよくなった」の合計)が14.8%となっている。

住みにくくなった理由としては、「地域に活気がなくなっている」と回答した方の割合が最も高く、ついで「医療や福祉が縮小し、老後が不安になった」、「買い物できるところが減り、不便になった」の順に割合が高くなっている。

【地区別】

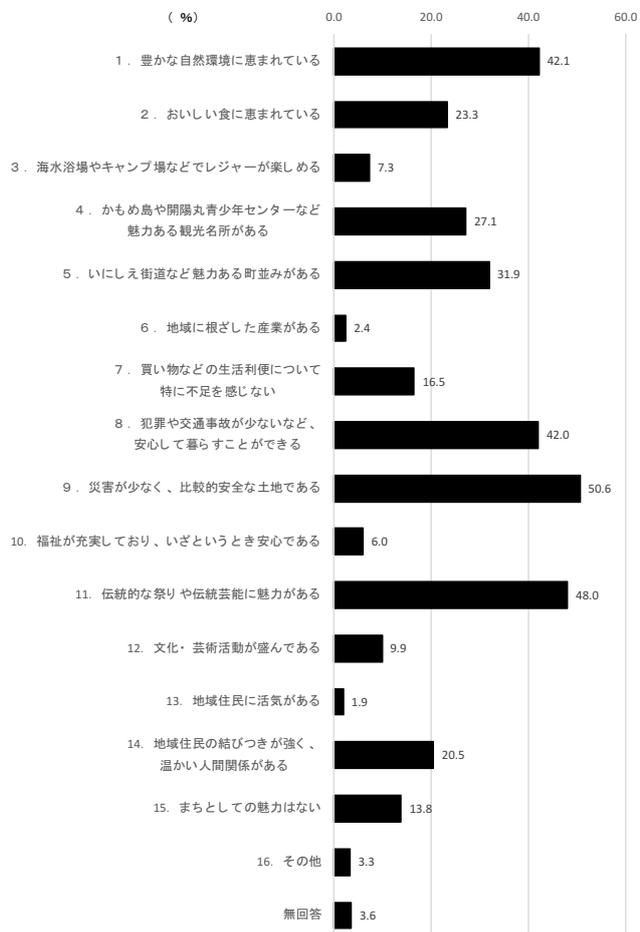
	人数(人)	割合(%)						
		1. 非常に住みよくなった	2. 多少住みよくなった	3. あまり変わらない	4. やや住みにくくなった	5. 非常に住みにくくなった	6. 最近転入したのでよくわからない	無回答
全体	781	2.6	12.2	49.4	23.3	6.7	4.9	1.0
1. 江差小学校区	386	1.8	9.3	49.2	27.5	6.5	4.7	1.0
2. 南が丘小学校区	173	1.7	8.7	50.9	24.9	7.5	4.6	1.7
3. 江差北小学校区	203	4.9	19.2	48.8	15.3	5.4	5.9	0.5



地区別にみると、住みよくなったと回答した方の割合(「非常に住みよくなった」と「多少住みよくなった」の合計)は、江差北小学校区が他の2小学校区よりも高くなっている。

9. 江差町の魅力だと感じられるところ【全体】

	人数 (人)	割合 (%)
1. 豊かな自然環境に恵まれている	329	42.1
2. おいしい食に恵まれている	182	23.3
3. 海水浴場やキャンプ場などでレジャーが楽しめる	57	7.3
4. かもめ島や開陽丸青少年センターなど魅力ある観光名所がある	212	27.1
5. いにしえ街道など魅力ある町並みがある	249	31.9
6. 地域に根ざした産業がある	19	2.4
7. 買い物などの生活利便について特に不足を感じない	129	16.5
8. 犯罪や交通事故が少ないなど、安心して暮らすことができる	328	42.0
9. 災害が少なく、比較的 안전한土地である	395	50.6
10. 福祉が充実しており、いざというとき安心である	47	6.0
11. 伝統的な祭りや伝統芸能に魅力がある	375	48.0
12. 文化・芸術活動が盛んである	77	9.9
13. 地域住民に活気がある	15	1.9
14. 地域住民の結びつきが強く、温かい人間関係がある	160	20.5
15. まちとしての魅力はない	108	13.8
16. その他	26	3.3
無回答	28	3.6
全体	781	



回答者のうち、「災害が少なく、比較的 안전한土地である」と回答した方の割合が最も高く、次いで「伝統的な祭りや伝統芸能に魅力がある」の割合が高くなっている。

全体的に、自然や安全・安心、伝統芸能を町の魅力と感じている傾向がある。

【地区別】

	人数(人)	割合(%)								
		1. 豊かな自然環境に恵まれている	2. おいしい食に恵まれている	3. 海水浴場やキャンプ場などでレジャーが楽しめる	4. かもめ島や開陽丸青少年センターなど魅力ある観光名所がある	5. いにしえ街道など魅力ある町並みがある	6. 地域に根ざした産業がある	7. 買い物などの生活利便について特に不足を感じない	8. 犯罪や交通事故が少ないなど、安心して暮らすことができる	9. 災害が少なく、比較的 안전한土地である
全体	781	42.1	23.3	7.3	27.1	31.9	2.4	16.5	42.0	50.6
1. 江差小学校区	386	44.8	24.1	7.8	26.9	32.6	2.6	15.3	45.6	52.8
2. 南が丘小学校区	173	42.2	21.4	6.4	30.1	38.2	1.2	6.4	40.5	50.9
3. 江差北小学校区	203	37.9	24.1	7.4	25.6	26.6	3.4	27.1	38.9	45.3

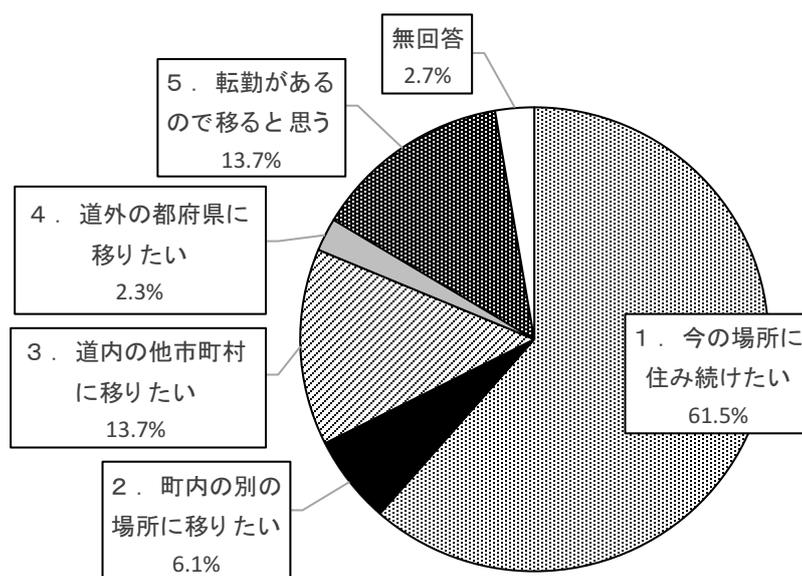
	人数(人)	割合(%)							
		10. 福祉が充実しており、いざというとき安心である	11. 伝統的な祭りや伝統芸能に魅力がある	12. 文化・芸術活動が盛んである	13. 地域住民に活気がある	14. 地域住民の結びつきが強く、温かい人間関係がある	15. まちとしての魅力はない	16. その他	無回答
全体	781	6.0	48.0	9.9	1.9	20.5	13.8	3.3	3.6
1. 江差小学校区	386	7.3	55.7	10.1	1.3	23.3	14.0	3.1	3.1
2. 南が丘小学校区	173	3.5	46.8	11.6	1.7	14.5	11.0	2.9	3.5
3. 江差北小学校区	203	5.9	37.4	8.4	3.0	21.2	16.7	3.4	3.4

地区別にみると、いくつかの選択肢で地区による差がみられた。「買い物などの生活利便について特に不足を感じない」と回答した方の割合は、江差北小学校区が他地区よりも高くなっている。「伝統的な祭りや伝統芸能に魅力がある」と回答した方の割合は、江差小学校区が他地区よりも高くなっている。

10. 今後も江差町に住み続けたいか

【全体】

	人数(人)	割合(%)
1. 今の場所に住み続けたい	480	61.5
2. 町内の別の場所に移りたい	48	6.1
3. 道内の他市町村に移りたい	107	13.7
4. 道外の都府県に移りたい	18	2.3
5. 転勤があるので移ると思う	107	13.7
無回答	21	2.7
全体	781	100.0

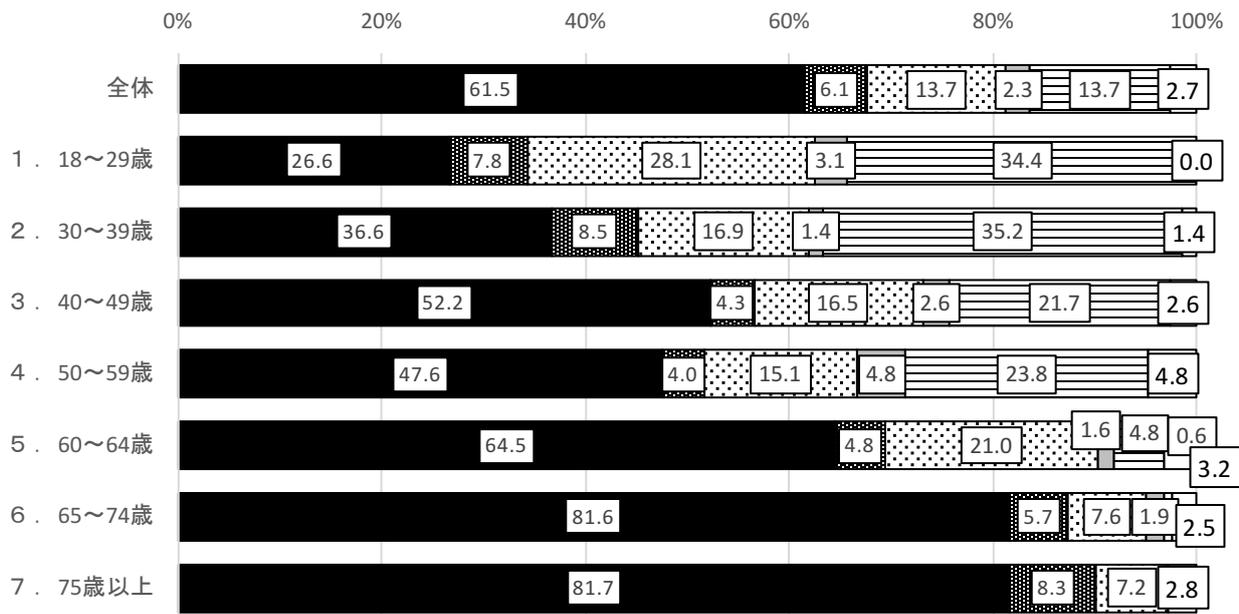


全体としてみると、町内に住み続けたいと回答した方の割合（「今の場所に住み続けたい」と「町内の別の場所に移りたい」の合計）は61.5%となっている。年齢別にみると（次のページ）、年齢層ごとに町内に住み続けたいと回答した方の割合に大きな差がみられる。特に18～29歳において、町内に住み続けたいと回答した方の割合は、34.4%ほどである。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)					
		1. 今の場所に 住み続けたい	2. 町内の別の 場所に移りたい	3. 道内の他市 町村に移りたい	4. 道外の都府 県に移りたい	5. 転勤がある ので移ると思う	無回答
全体	781	61.5	6.1	13.7	2.3	13.7	2.7
1. 18～29歳	64	26.6	7.8	28.1	3.1	34.4	0.0
2. 30～39歳	71	36.6	8.5	16.9	1.4	35.2	1.4
3. 40～49歳	115	52.2	4.3	16.5	2.6	21.7	2.6
4. 50～59歳	126	47.6	4.0	15.1	4.8	23.8	4.8
5. 60～64歳	62	64.5	4.8	21.0	1.6	4.8	3.2
6. 65～74歳	158	81.6	5.7	7.6	1.9	0.6	2.5
7. 75歳以上	180	81.7	8.3	7.2	0.0	0.0	2.8

■ 1. 今の場所に住み続けたい ▨ 2. 町内の別の場所に移りたい □ 3. 道内の他市町村に移りたい
 □ 4. 道外の都府県に移りたい □ 5. 転勤があるので移ると思う □ 無回答



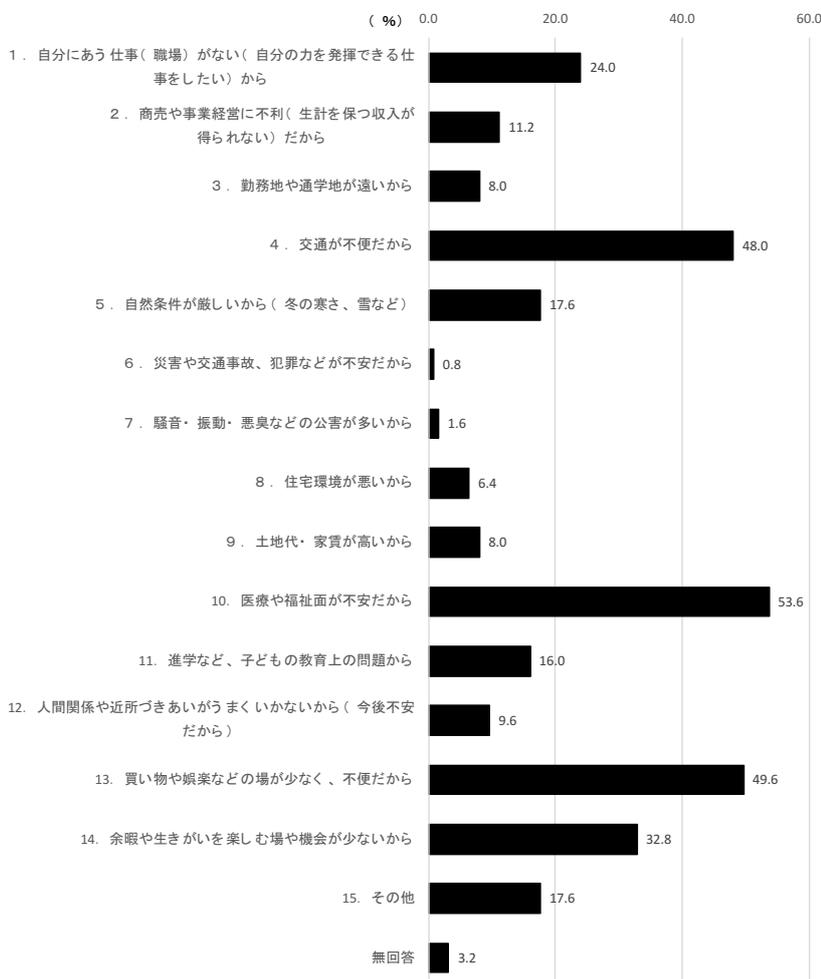
・転出先の希望（複数あったもの）

道内
札幌市、函館市、厚沢部町
道外
東京都

10-1. 転出したい理由【全体】

(「10. 今後も江差町に住み続けたいか」において選択肢3または4を回答した方を対象)

	人数(人)	割合(%)
1. 自分にあう仕事(職場)がない(自分の力を発揮できる仕事をしたい)から	30	24.0
2. 商売や事業経営に不利(生計を保つ収入が得られない)だから	14	11.2
3. 勤務地や通学地が遠いから	10	8.0
4. 交通が不便だから	60	48.0
5. 自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)	22	17.6
6. 災害や交通事故、犯罪などが不安だから	1	0.8
7. 騒音・振動・悪臭などの公害が多いから	2	1.6
8. 住宅環境が悪いから	8	6.4
9. 土地代・家賃が高いから	10	8.0
10. 医療や福祉面が不安だから	67	53.6
11. 進学など、子どもの教育上の問題から	20	16.0
12. 人間関係や近所づきあいがうまくいかないから(今後不安だから)	12	9.6
13. 買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから	62	49.6
14. 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから	41	32.8
15. その他	22	17.6
無回答	4	3.2
全体	125	



回答者のうち、「医療や福祉面が不安だから」と回答した方の割合が最も高く、ついで「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」、「交通が不便だから」の順に割合が高くなっている。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)							
		1. 自分にあう仕事(職場)がない(自分の力を発揮できる仕事をした)いから	2. 商売や事業経営に不利(生計を保つ収入が得られない)だから	3. 勤務地や通学地が遠いから	4. 交通が不便だから	5. 自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)	6. 災害や交通事故、犯罪などが不安だから	7. 騒音・振動・悪臭などの公害が多いから	8. 住宅環境が悪いから
全体	125	24.0	11.2	8.0	48.0	17.6	0.8	1.6	6.4
1. 18～29 歳	20	45.0	10.0	20.0	50.0	10.0	0.0	0.0	10.0
2. 30～39 歳	13	30.8	7.7	7.7	46.2	15.4	0.0	0.0	15.4
3. 40～49 歳	22	13.6	9.1	9.1	54.5	13.6	0.0	4.5	0.0
4. 50～59 歳	25	28.0	8.0	4.0	44.0	24.0	4.0	0.0	8.0
5. 60～64 歳	14	14.3	28.6	0.0	42.9	7.1	0.0	0.0	7.1
6. 65～74 歳	15	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	6.7
7. 75 歳以上	13	15.4	15.4	0.0	23.1	23.1	0.0	0.0	0.0

	人数(人)	割合(%)						
		9. 土地代・家賃が高いから	10. 医療や福祉面が不安だから	11. 進学など、子どもの教育上の問題から	12. 人間関係や近所つきあいがうまくいかないから(今後不安だから)	13. 買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから	14. 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから	15. その他
全体	125	8.0	53.6	16.0	9.6	49.6	32.8	17.6
1. 18～29 歳	20	5.0	30.0	15.0	15.0	60.0	40.0	10.0
2. 30～39 歳	13	7.7	38.5	38.5	15.4	46.2	38.5	30.8
3. 40～49 歳	22	13.6	68.2	31.8	9.1	50.0	36.4	27.3
4. 50～59 歳	25	8.0	64.0	12.0	4.0	52.0	36.0	12.0
5. 60～64 歳	14	14.3	64.3	14.3	7.1	50.0	14.3	21.4
6. 65～74 歳	15	0.0	60.0	0.0	13.3	40.0	33.3	20.0
7. 75 歳以上	13	0.0	46.2	0.0	7.7	30.8	15.4	0.0

年齢別にみると、18 歳～29 歳が「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」と回答した方の割合が最も高く、ついで「交通が不便だから」と回答した方の割合が高くなっている。全体では割合の高かった「医療や福祉面が不安だから」については、18 歳～29 歳では 30.0%だった。

【地区別】

	人数(人)	割合(%)							
		1. 自分にあう仕事(職場がない(自分の力を発揮できる仕事をした)から	2. 商売や事業経営に不利(生計を保つ収入が得られない)だから	3. 勤務地や通学地が遠いから	4. 交通が不便だから	5. 自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)	6. 災害や交通事故、犯罪などが不安だから	7. 騒音・振動・悪臭などの公害が多いから	8. 住宅環境が悪いから
全体	125	24.0	11.2	8.0	48.0	17.6	0.8	1.6	6.4
1. 江差小学校区	56	23.2	12.5	5.4	50.0	12.5	0.0	0.0	7.1
2. 南が丘小学校区	27	25.9	3.7	7.4	51.9	22.2	3.7	0.0	3.7
3. 江差北小学校区	39	20.5	12.8	7.7	41.0	20.5	0.0	2.6	7.7

	人数(人)	割合(%)						
		9. 土地代・家賃が高いから	10. 医療や福祉面が不安だから	11. 進学など、子どもの教育上の問題から	12. 人間関係や近所づきあいがうまくいかないから(今後不安だから)	13. 買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから	14. 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから	15. その他
全体	125	8.0	53.6	16.0	9.6	49.6	32.8	17.6
1. 江差小学校区	56	5.4	44.6	21.4	5.4	50.0	33.9	16.1
2. 南が丘小学校区	27	3.7	81.5	7.4	11.1	63.0	37.0	3.7
3. 江差北小学校区	39	12.8	48.7	15.4	15.4	38.5	28.2	28.2

地区別にみると、各地区で上位となっている項目はおおむね似通っているが、割合に違いがみられた。(それぞれの地区の上位項目と割合は、次のページ)

地区別主要転出動機(上位3位まで)

	江差小学校区	南が丘小学校区	江差北小学校区
1	・交通が不便だから(50.0%) ・買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから(50.0%)	・医療や福祉面が不安だから(81.5%)	・医療や福祉面が不安だから(48.7%)
2	・医療や福祉面が不安だから(44.6%)	・買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから(63.0%)	・交通が不便だから(41.0%)
3	・余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから(33.9%)	・交通が不便だから(51.9%)	・買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから(38.5%)

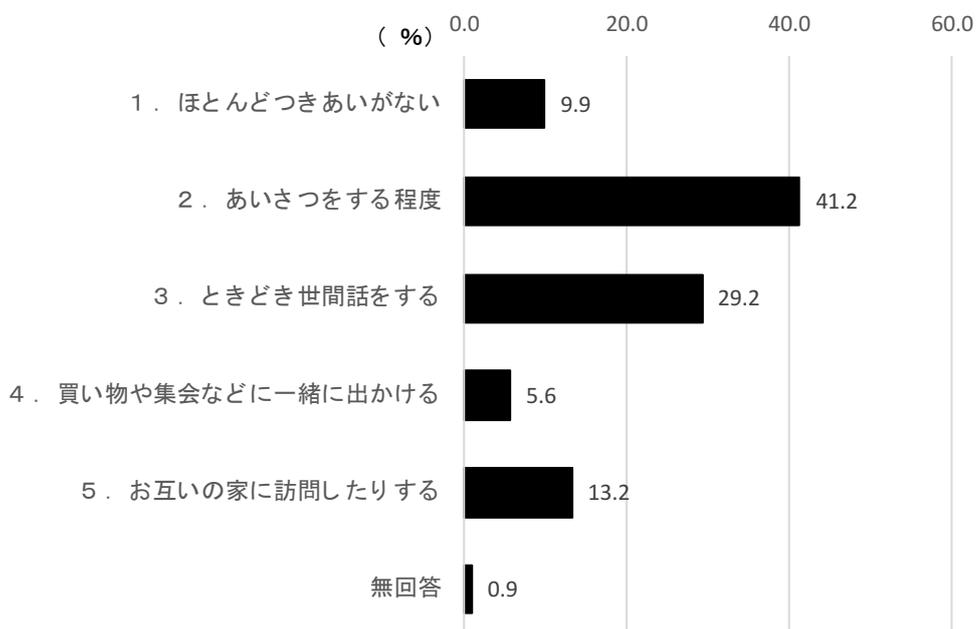
・「その他」にあった主な意見

(転出希望先は)賃金がいいから
(転出希望先は)給食費、保育料がかからないから
(転出希望先は)水道料金が安いから
(転出希望先に)家族が住んでいるから
江差町は町税が高いから
高齢化で子どもや若者の負担が増えそうだから

11. ご近所とのおつきあいの状況

【全体】

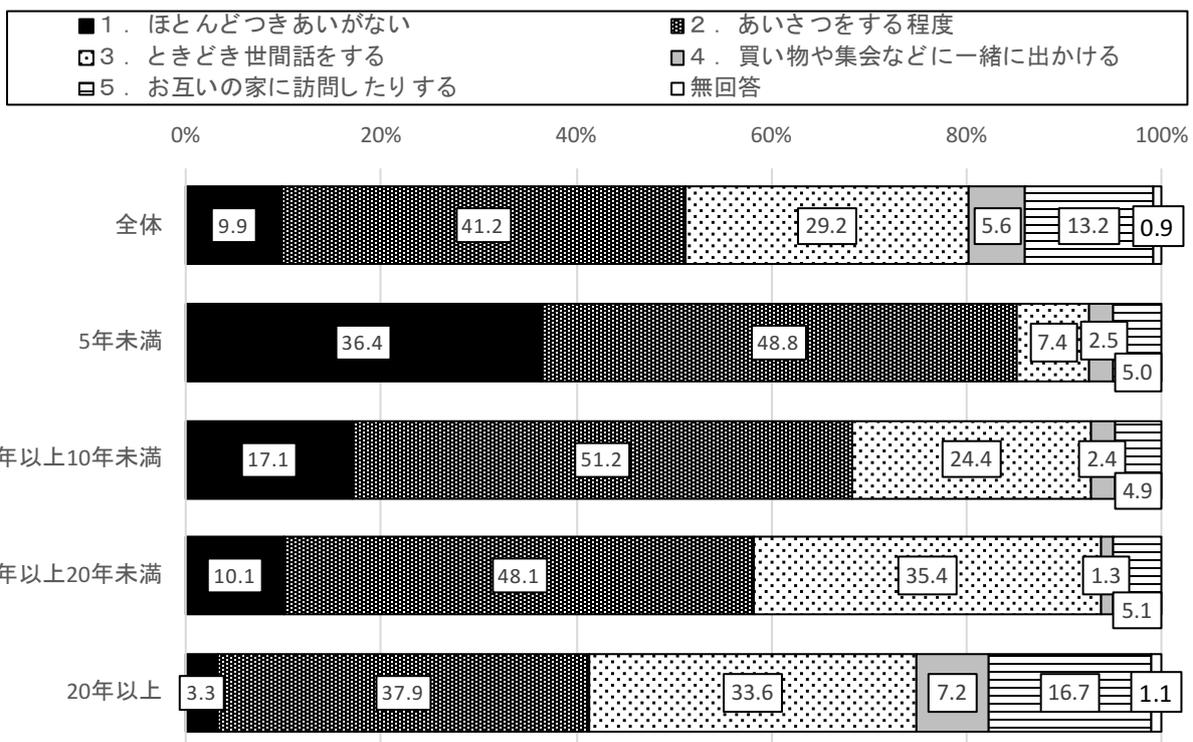
	人数(人)	割合(%)
1. ほとんどつきあいが無い	77	9.9
2. あいさつをする程度	322	41.2
3. ときどき世間話をする	228	29.2
4. 買い物や集会などと一緒に出かけ	44	5.6
5. お互いに訪問したりする	103	13.2
無回答	7	0.9
全体	781	100.0



回答者のうち、「あいさつをする程度」の方の割合が最も高く41.2%となっている。
一方で、「ほとんどつきあいが無い」の方の割合は9.9%となっている。

【居住年数別】

	人数(人)	割合(%)					無回答
		1. ほとんどつきあいが ない	2. あいさつをする 程度	3. ときどき世間話をする	4. 買い物や集会などに 一緒に出かける	5. お互いに訪問したり する	
全体	781	9.9	41.2	29.2	5.6	13.2	0.9
5年未満	121	36.4	48.8	7.4	2.5	5.0	0.0
5年以上 10年未満	41	17.1	51.2	24.4	2.4	4.9	0.0
10年以上 20年未満	79	10.1	48.1	35.4	1.3	5.1	0.0
20年以上	538	3.3	37.9	33.6	7.2	16.7	1.1



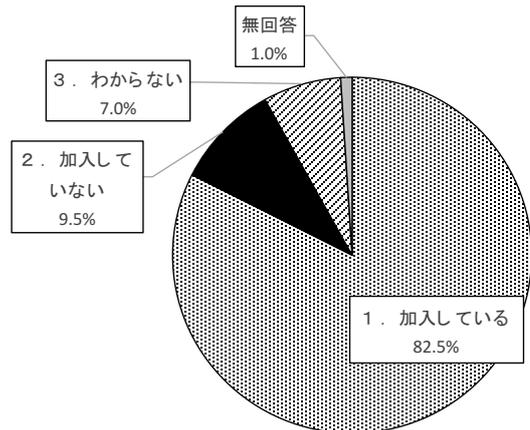
居住年数別にみると、5年未満の居住年数の方の「ほとんどつきあいがなく」割合が 36.4%となっている。居住年数が長くなるにつれ、ご近所づきあいは密になる傾向がみられる。

社会的孤立のおそれがある「ほとんどつきあいがなく」方の割合は、居住年数が長くなるにつれ減少するが、20年以上居住していても 3.3%の近所づきあいのない方がいる。

12. 自治会・町内会の加入状況

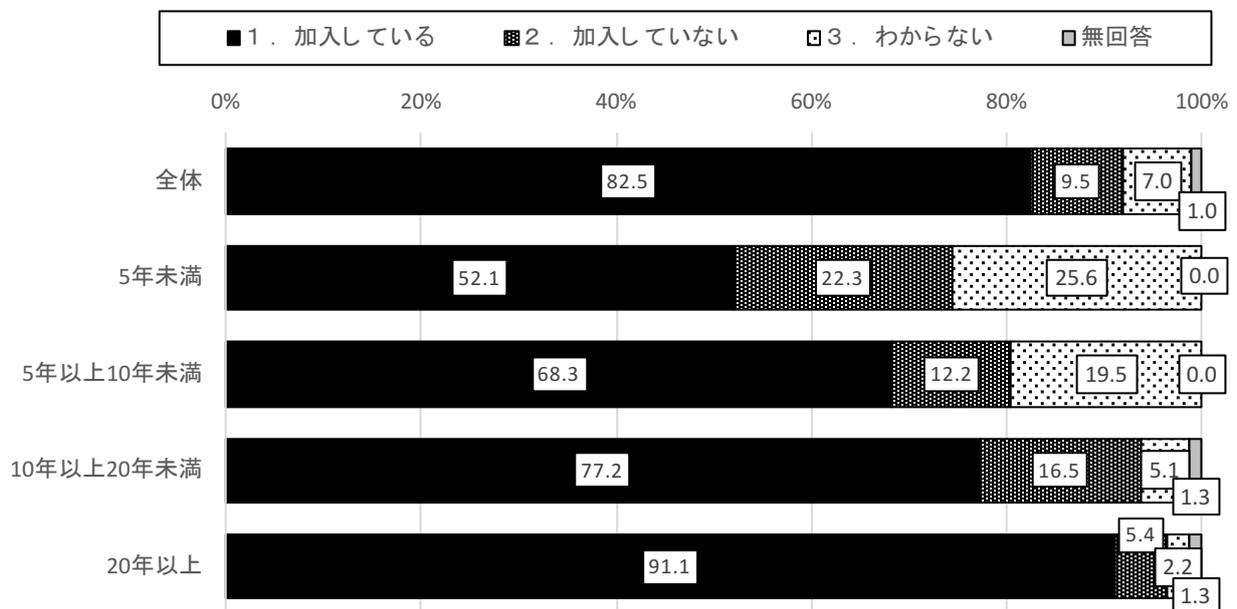
【全体】

	人数(人)	割合(%)
1. 加入している	644	82.5
2. 加入していない	74	9.5
3. わからない	55	7.0
無回答	8	1.0
全体	781	100.0



【居住年数別】

	人数(人)	割合(%)			
		加入している	加入していない	わからない	無回答
全体	781	82.5	9.5	7.0	1.0
5年未満	121	52.1	22.3	25.6	0.0
5年以上10年未満	41	68.3	12.2	19.5	0.0
10年以上20年未満	79	77.2	16.5	5.1	1.3
20年以上	538	91.1	5.4	2.2	1.3

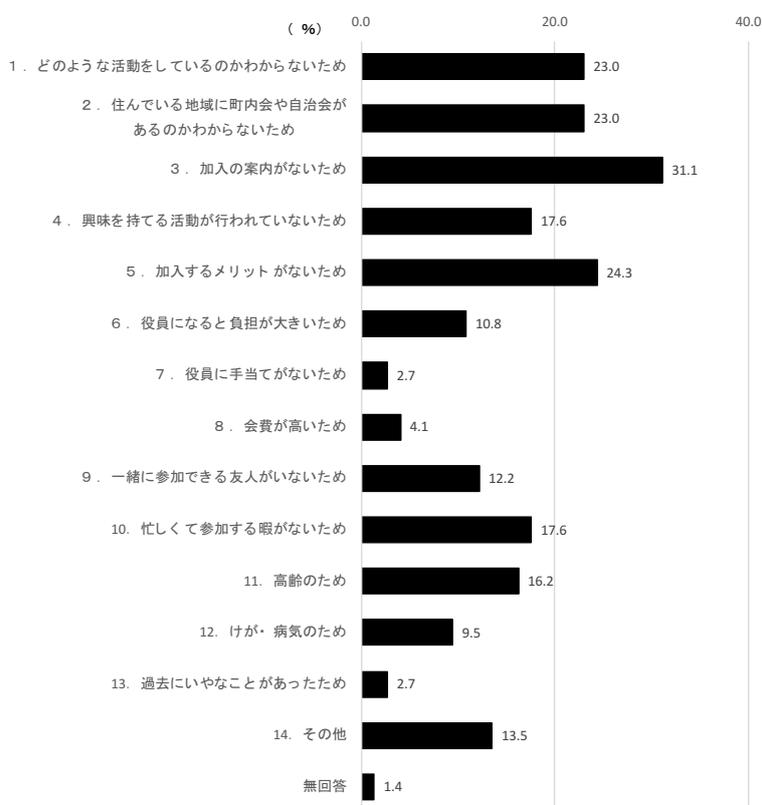


回答者のうち、「加入している」方の割合が82.5%となっている。
 居住年数別にみると、5年未満の方の加入割合が低く52.1%となっている。居住年数が長くなるほど、加入割合は高くなっている。

12-1. 自治会・町内会に加入していない理由

(12. 自治会・町内会の加入状況)において選択肢2を回答した方を対象)

	人数(人)	割合(%)
1. どのような活動をしているのかわからないため	17	23.0
2. 住んでいる地域に町内会や自治会があるのかわからないため	17	23.0
3. 加入の案内がないため	23	31.1
4. 興味を持てる活動が行われていないため	13	17.6
5. 加入するメリットがないため	18	24.3
6. 役員になると負担が大きいため	8	10.8
7. 役員に手当てがないため	2	2.7
8. 会費が高いため	3	4.1
9. 一緒に参加できる友人がいないため	9	12.2
10. 忙しくて参加する暇がないため	13	17.6
11. 高齢のため	12	16.2
12. けが・病気のため	7	9.5
13. 過去にいやなことがあったため	2	2.7
14. その他	10	13.5
無回答	1	1.4
全体	74	



自治会・町内会への未加入理由として、「加入の案内がないため」と回答した方の割合が最も高くなっている。
 ついで「加入するメリットがないため」と回答した方の割合が高くなっている。

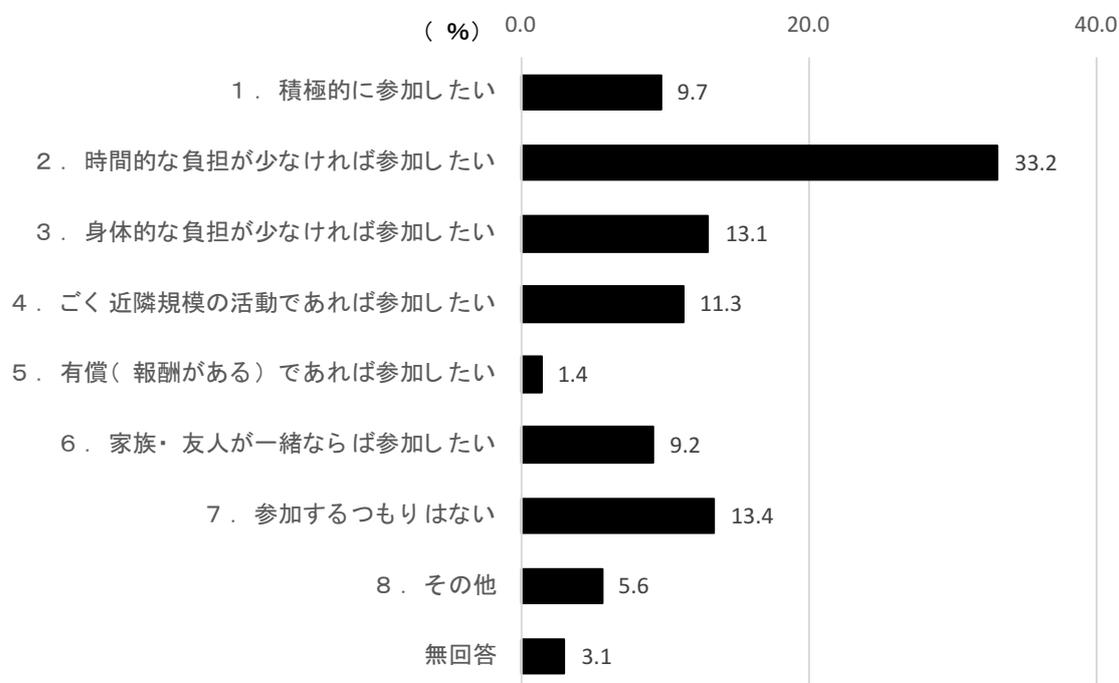
・「その他」にあった主な意見

自治会がなくなった
数年で転勤する可能性が高いため

13. 地域活動への参加意向

【全体】

	人数(人)	割合(%)
1. 積極的に参加したい	76	9.7
2. 時間的な負担が少なければ参加したい	259	33.2
3. 身体的な負担が少なければ参加したい	102	13.1
4. ごく近隣規模の活動であれば参加したい	88	11.3
5. 有償(報酬がある)であれば参加したい	11	1.4
6. 家族・友人と一緒に参加できるならば参加したい	72	9.2
7. 参加するつもりはない	105	13.4
8. その他	44	5.6
無回答	24	3.1
全体	781	100.0



回答者のうち、「時間的な負担が少なければ参加したい」と回答した方の割合が最も高く 33.2%となっている。明確に「参加するつもりはない」と回答した方の割合は 13.4%となっており、(活動内容によってではあるが)住民の多くに地域活動への参加意向がみられる。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)								
		1. 積極的に参加したい	2. 時間的な負担が少なければ参加したい	3. 身体的な負担が少なければ参加したい	4. 近く近隣規模の活動であれば参加したい	5. 有償(報酬がある)であれば参加したい	6. 家族・友人と一緒に参加できるならば参加したい	7. 参加するつもりはない	8. その他	無回答
全体	781	9.7	33.2	13.1	11.3	1.4	9.2	13.4	5.6	3.1
1. 18～29 歳	64	6.3	28.1	3.1	1.6	7.8	25.0	25.0	3.1	0.0
2. 30～39 歳	71	5.6	36.6	4.2	9.9	1.4	11.3	22.5	7.0	1.4
3. 40～49 歳	115	6.1	47.0	6.1	11.3	0.9	11.3	10.4	4.3	2.6
4. 50～59 歳	126	4.0	50.8	7.9	7.1	2.4	7.9	16.7	2.4	0.8
5. 60～64 歳	62	16.1	43.5	4.8	14.5	0.0	4.8	6.5	4.8	4.8
6. 65～74 歳	158	14.6	29.1	22.8	14.6	0.0	5.1	8.9	3.8	1.3
7. 75 歳以上	180	12.2	12.2	22.8	14.4	0.6	7.8	11.7	10.6	7.8

年齢層別にみると、18 歳～64 歳にかけて、時間的な負担が少ないことを参加の条件とする方が多くなっている。75 歳以上については、他の年齢層に比べ、時間的な負担よりも身体的な負担が少ないことを参加の条件とする方の割合が多くなっている。

また、明確に「参加するつもりはない」と回答した方の割合は、18 歳～29 歳、30～39 歳が特に高くなっている。

・「その他」にあった主な意見

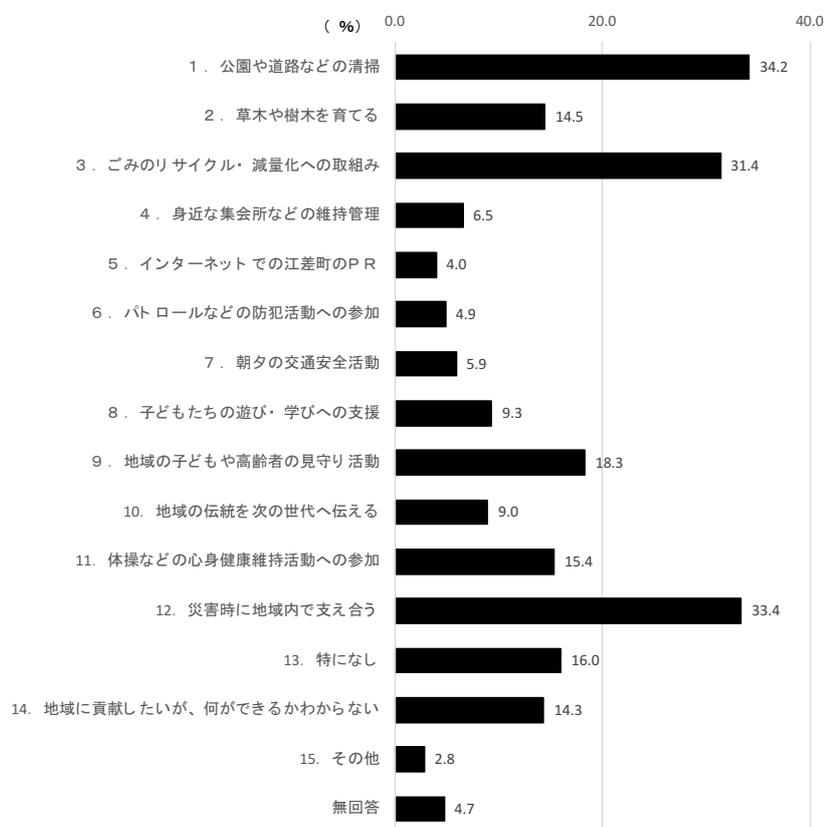
高齢のため参加できない

よそ者扱いされなければ

14. 参加できると思う地域活動

【全体】

	人数(人)	割合(%)
1. 公園や道路などの清掃	267	34.2
2. 草木や樹木を育てる	113	14.5
3. ごみのリサイクル・減量化への取組み	245	31.4
4. 身近な集会所などの維持管理	51	6.5
5. インターネットでの江差町のPR	31	4.0
6. パトロールなどの防犯活動への参加	38	4.9
7. 朝夕の交通安全活動	46	5.9
8. 子どもたちの遊び・学びへの支援	73	9.3
9. 地域の子どもや高齢者の見守り活動	143	18.3
10. 地域の伝統を次の世代へ伝える	70	9.0
11. 体操などの心身健康維持活動への参加	120	15.4
12. 災害時に地域内で支え合う	261	33.4
13. 特になし	125	16.0
14. 地域に貢献したいが、何ができるかわからない	112	14.3
15. その他	22	2.8
無回答	37	4.7
全体	781	



回答者のうち、「公園や道路の清掃」と回答した方の割合が最も高く34.2%となっている。

ついで「災害時に地域内で支え合う」、「ごみのリサイクル・減量化への取組み」と回答した方の割合が高くなっている。

見守りや地域交流よりも、清掃や衛生活動の割合が高い傾向がみられる。

【居住年数別】

	人数(人)	割合(%)							
		1. 公園や道路などの清掃	2. 草木や樹木を育てる	3. ごみのリサイクル・減量化への取組み	4. 身近な集会所などの維持管理	5. インターネットでの江差町のPR	6. パトロールなどの防犯活動への参加	7. 朝夕の交通安全活動	8. 子どもたちの遊び・学びへの支援
全体	781	34.2	14.5	31.4	6.5	4.0	4.9	5.9	9.3
5年未満	121	41.3	14.9	33.9	0.8	5.0	5.0	5.0	16.5
5年以上 10年未満	41	29.3	17.1	31.7	4.9	12.2	4.9	4.9	17.1
10年以上 20年未満	79	35.4	17.7	25.3	7.6	3.8	3.8	7.6	17.7
20年以上	538	32.9	13.8	31.8	7.8	3.2	5.0	5.9	5.9

	人数(人)	割合(%)							無回答
		9. 地域の子どもや高齢者の見守り活動	10. 地域の伝統を次の世代へ伝える	11. 体操などの心身健康維持活動への参加	12. 災害時に地域内で支え合う	13. 特になし	14. 地域に貢献したいが、何ができるかわからない	15. その他	
全体	781	18.3	9.0	15.4	33.4	16.0	14.3	2.8	4.7
5年未満	121	13.2	3.3	14.9	30.6	17.4	12.4	1.7	0.8
5年以上 10年未満	41	17.1	9.8	12.2	19.5	19.5	19.5	0.0	4.9
10年以上 20年未満	79	21.5	5.1	16.5	32.9	17.7	10.1	1.3	2.5
20年以上	538	19.1	10.8	15.6	35.3	15.2	15.1	3.3	5.8

居住年数別にみると、一部の選択肢において、差がみられた。
 5年未満の方が「公園や道路などの清掃」と回答した割合が、他の年齢層より高くなっている。一方、「身近な集会所の維持管理」は、5年未満の方が回答した割合が特に低くなっている。
 20年以上の方が「子どもたちへの遊び・学びへの支援」を回答した割合が、他の年齢層よりも低くなっている。

・「その他」にあった主な意見

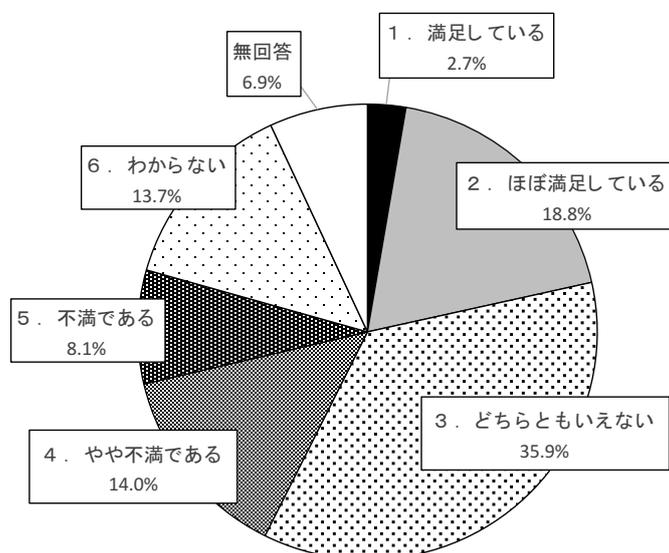
食文化の継承
町外に行ったときに、江差町のPRをする

まちの政策について

15. 総合的にみた江差町の取組みへの満足度

【全体】

	人数(人)	割合(%)
1. 満足している	21	2.7
2. ほぼ満足している	147	18.8
3. どちらともいえない	280	35.9
4. やや不満である	109	14.0
5. 不満である	63	8.1
6. わからない	107	13.7
無回答	54	6.9
全体	781	100.0

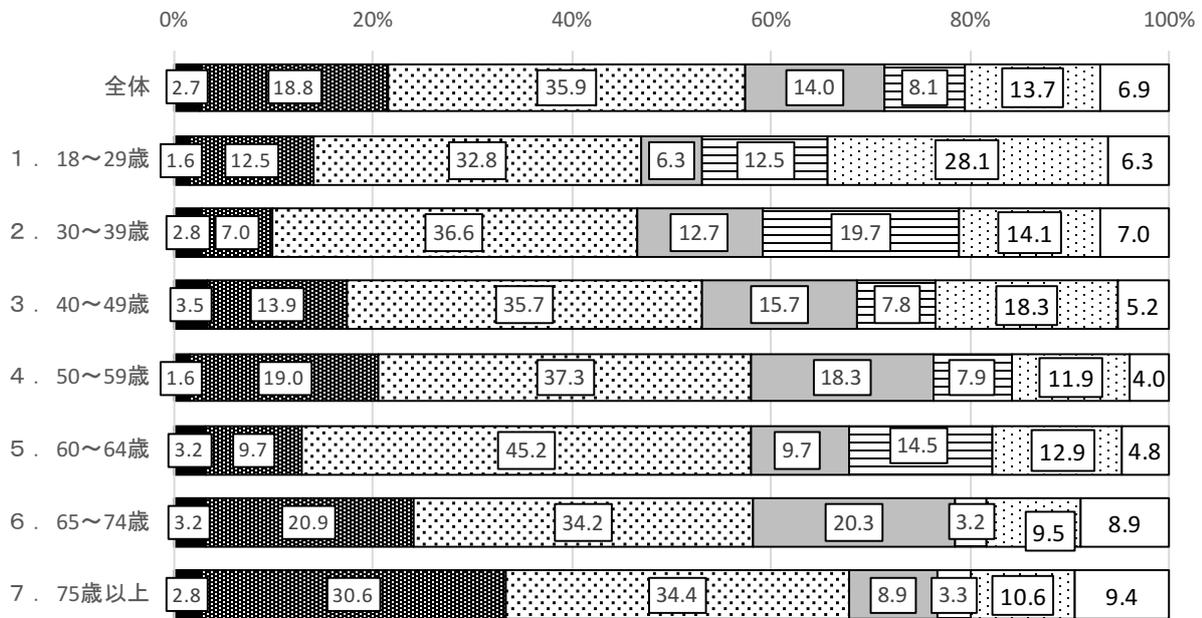


全体としては、満足度(「満足している」と「ほぼ満足している」の合計)が21.5%、不満度(「やや不満である」と「不満である」の合計)が22.1%と、不満度のほうがわずかに高くなっているが、おおむね同程度です。

【年齢層別】

	人数 (人)	割合(%)						
		1. 満足 している	2. ほぼ 満足して いる	3. どちら ともい えない	4. やや 不満で ある	5. 不満 である	6. わか らない	無回答
全体	781	2.7	18.8	35.9	14.0	8.1	13.7	6.9
1. 18～29 歳	64	1.6	12.5	32.8	6.3	12.5	28.1	6.3
2. 30～39 歳	71	2.8	7.0	36.6	12.7	19.7	14.1	7.0
3. 40～49 歳	115	3.5	13.9	35.7	15.7	7.8	18.3	5.2
4. 50～59 歳	126	1.6	19.0	37.3	18.3	7.9	11.9	4.0
5. 60～64 歳	62	3.2	9.7	45.2	9.7	14.5	12.9	4.8
6. 65～74 歳	158	3.2	20.9	34.2	20.3	3.2	9.5	8.9
7. 75 歳以上	180	2.8	30.6	34.4	8.9	3.3	10.6	9.4

■ 1. 満足している ■ 2. ほぼ満足している □ 3. どちらともいえない □ 4. やや不満である
 □ 5. 不満である □ 6. わからない □ 無回答

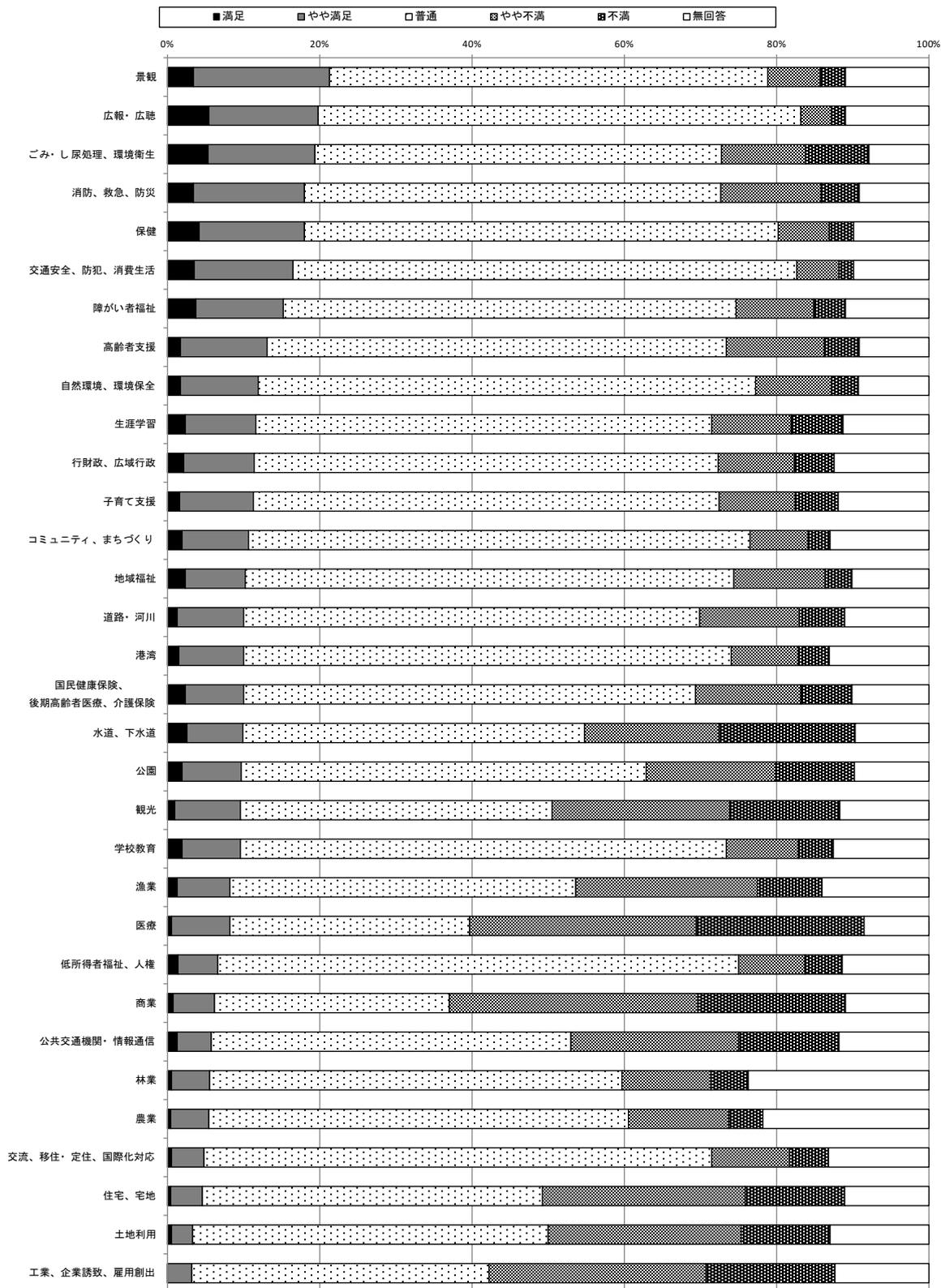


満足度については、75 歳以上、65～74 歳が高くなっており、高齢者の満足度が高い。
 不満度については、30～39 歳が特に高くなっている。

16-1. 施策ごとの満足度

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
産業分野	1. 農業	0.5	5.0	55.1	13.2	4.5	21.8
	2. 林業	0.6	5.0	54.2	11.7	4.9	23.7
	3. 漁業	1.3	6.9	45.5	23.9	8.5	14.0
	4. 商業	0.8	5.4	30.9	32.7	19.5	10.9
	5. 工業、企業誘致、雇用創出	0.1	3.1	39.1	28.6	16.9	12.3
	6. 観光	1.0	8.6	41.0	23.3	14.5	11.7
生活環境分野	1. 土地利用	0.6	2.8	46.6	25.4	11.7	12.9
	2. 道路・河川	1.3	8.8	59.8	13.1	6.0	11.0
	3. 港湾	1.5	8.5	64.1	8.8	4.0	13.1
	4. 公共交通機関・情報通信	1.3	4.5	47.2	22.0	13.2	11.8
	5. 景観	3.5	17.8	57.6	6.9	3.3	10.9
	6. 住宅、宅地	0.5	4.1	44.7	26.6	13.1	11.0
	7. 水道、下水道	2.6	7.3	44.9	17.7	17.8	9.7
	8. ごみ・し尿処理、環境衛生	5.4	14.0	53.4	11.1	8.3	7.8
	9. 自然環境、環境保全	1.8	10.2	65.3	10.0	3.5	9.2
	10. 公園	2.0	7.7	53.1	17.0	10.4	9.7
	11. 消防、救急、防災	3.5	14.5	54.8	13.2	5.0	9.1
	12. 交通安全、防犯、消費生活	3.6	12.9	66.2	5.5	1.9	9.9
民生・教育等分野	1. 子育て支援	1.7	9.6	61.2	10.0	5.6	11.9
	2. 保健	4.2	13.8	62.2	6.7	3.2	9.9
	3. 医療	0.6	7.6	31.5	29.8	22.0	8.5
	4. 地域福祉	2.4	7.9	64.0	12.0	3.5	10.1
	5. 高齢者支援	1.8	11.3	60.3	12.9	4.6	9.1
	6. 障がい者福祉	3.8	11.4	59.4	10.2	4.2	10.9
	7. 低所得者福祉、人権	1.4	5.2	68.4	8.7	4.9	11.4
	8. 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険	2.4	7.6	59.4	13.8	6.7	10.1
	9. 生涯学習	2.4	9.2	59.9	10.4	6.8	11.3
	10. 学校教育	2.0	7.6	63.8	9.5	4.6	12.5
	11. 交流、移住・定住、国際化対応	0.6	4.2	66.7	10.2	5.1	13.1
	12. コミュニティ、まちづくり	2.0	8.7	65.7	7.7	2.9	12.9
進 町 分 政 野 推	1. 広報・広聴	5.5	14.3	63.4	4.1	1.8	10.9
	2. 行財政、広域行政	2.2	9.2	60.9	10.0	5.2	12.4

施策満足度（「満足」、「やや満足」の割合の合計が高い順）



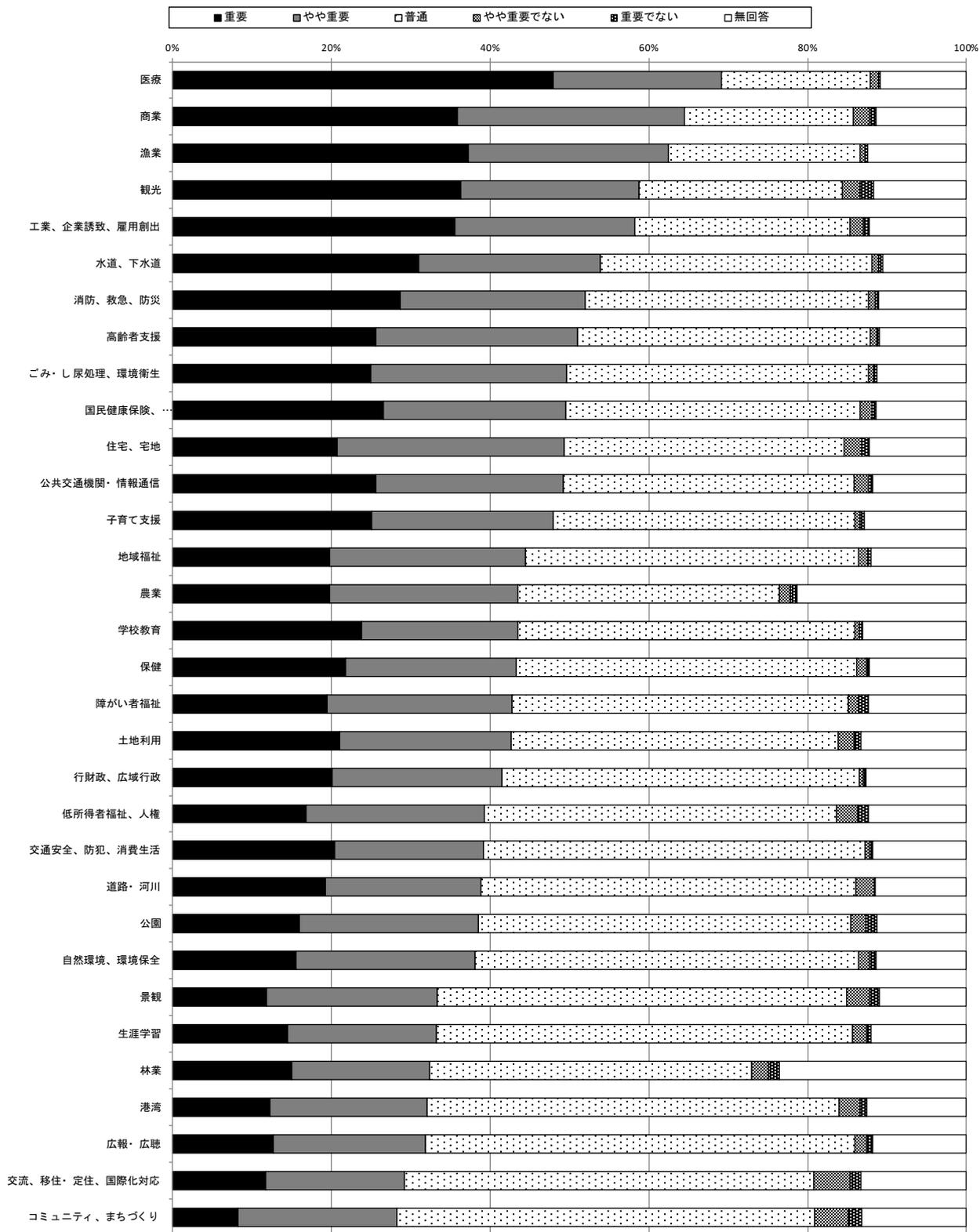
満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は、「景観」が最も高く、次いで「広報・広聴」、「ごみ・し尿処理・環境衛生」が高くなっている。

一方、満足度が最も低いのは「工業、企業誘致、雇用創出」で、次いで「土地利用」、「住宅・宅地」となっている。また、不満度（「やや不満」と「不満」の合計）は「商業」と「医療」が特に高く、50%を超えている。

■重要度

		重要	やや重要	普通	やや重要でない	重要でない	無回答
産業分野	1. 農業	19.8	23.7	33.0	1.3	0.9	21.3
	2. 林業	15.0	17.4	40.6	2.2	1.3	23.6
	3. 漁業	37.3	25.2	24.1	0.6	0.4	12.4
	4. 商業	35.9	28.6	21.4	2.0	0.8	11.4
	5. 工業、企業誘致、雇用創出	35.6	22.7	27.1	1.7	0.8	12.2
	6. 観光	36.4	22.4	25.7	2.2	1.7	11.7
生活環境分野	1. 土地利用	21.0	21.6	41.2	2.0	0.8	13.3
	2. 道路・河川	19.2	19.6	47.2	2.3	0.1	11.5
	3. 港湾	12.3	19.8	51.9	2.6	0.9	12.5
	4. 公共交通機関・情報通信	25.6	23.6	36.7	1.8	0.5	11.8
	5. 景観	11.9	21.4	51.6	2.9	1.2	11.0
	6. 住宅、宅地	20.7	28.6	35.3	2.2	1.0	12.2
	7. 水道、下水道	31.0	22.9	34.2	0.8	0.6	10.5
	8. ごみ・し尿処理、環境衛生	25.0	24.7	38.0	0.6	0.4	11.3
	9. 自然環境、環境保全	15.6	22.5	48.3	1.4	0.8	11.4
	10. 公園	16.0	22.5	47.0	1.9	1.3	11.3
	11. 消防、救急、防災	28.7	23.3	35.7	0.8	0.4	11.1
	12. 交通安全、防犯、消費生活	20.4	18.8	48.0	0.6	0.4	11.8
民生・教育等分野	1. 子育て支援	25.1	22.8	38.0	0.6	0.6	12.8
	2. 保健	21.8	21.5	43.0	1.2	0.4	12.2
	3. 医療	48.0	21.1	18.8	1.0	0.3	10.8
	4. 地域福祉	19.8	24.7	41.9	1.2	0.4	12.0
	5. 高齢者支援	25.7	25.4	36.9	0.8	0.3	11.0
	6. 障がい者福祉	19.5	23.3	42.4	1.3	1.3	12.3
	7. 低所得者福祉、人権	16.8	22.5	44.4	2.6	1.4	12.3
	8. 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険	26.5	23.0	37.0	1.5	0.5	11.4
	9. 生涯学習	14.5	18.7	52.5	1.8	0.5	12.0
	10. 学校教育	23.8	19.7	42.5	0.5	0.4	13.1
	11. 交流、移住・定住、国際化対応	11.8	17.4	51.6	4.5	1.4	13.3
	12. コミュニティ、まちづくり	8.3	20.0	52.6	4.2	1.7	13.2
進 町 分 政 野 推	1. 広報・広聴	12.7	19.2	54.2	1.4	0.8	11.8
	2. 行財政、広域行政	20.1	21.4	45.1	0.5	0.3	12.7

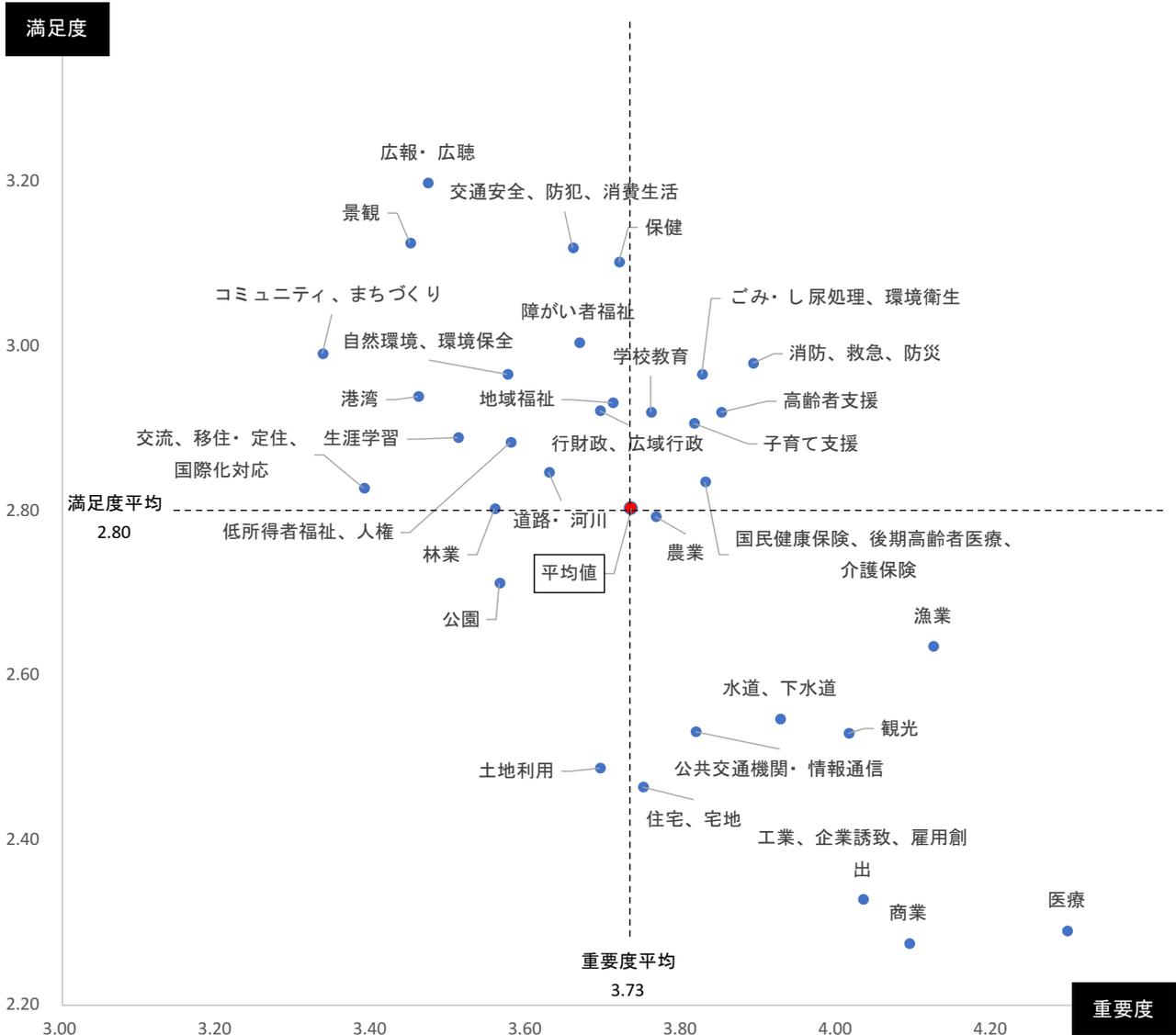
施策重要度（「重要」、「やや重要」の割合の合計が高い順）



重要度（「重要」と「やや重要」の合計）は、「医療」が最も高く、ついで「商業」、「漁業」が高くなっている。

一方、重要度が最も低いのは「コミュニティ・まちづくり」で、ついで「交流、移住・定住、国際化対応」、「広報・広聴」となっている。

CS分析



★グラフの見方

重要度は平均より低く
満足度は平均より高い

【維持分野】

重要度が平均より高く
満足度も平均より高い

【重点維持分野】

重要度は平均より低く
満足度も平均より低い

【改善分野】

重要度は平均より高く
満足度は平均より低い

【重要改善分野】

点数について

満足(重要):5点

やや満足(やや重要):4点

普通:3点

やや不満(やや重要でない):2点

不満(重要でない):1点

として、各選択肢の点数を、それを回答した人数で乗じ、その合計を回答者総数(無回答者を除く)で除したものを各施策の得点としている。

★重要改善分野に該当したもの

産業分野	農業
	漁業
	商業
	工業、企業誘致、雇用創出
	観光
生活環境分野	公共交通機関、情報通信
	住宅、宅地
	水道、下水道
民生・教育等分野	医療

満足度、重要度をそれぞれ点数化すると、特に重要改善度が高い(CS分析グラフの右下に位置している)のは「医療」となっている。

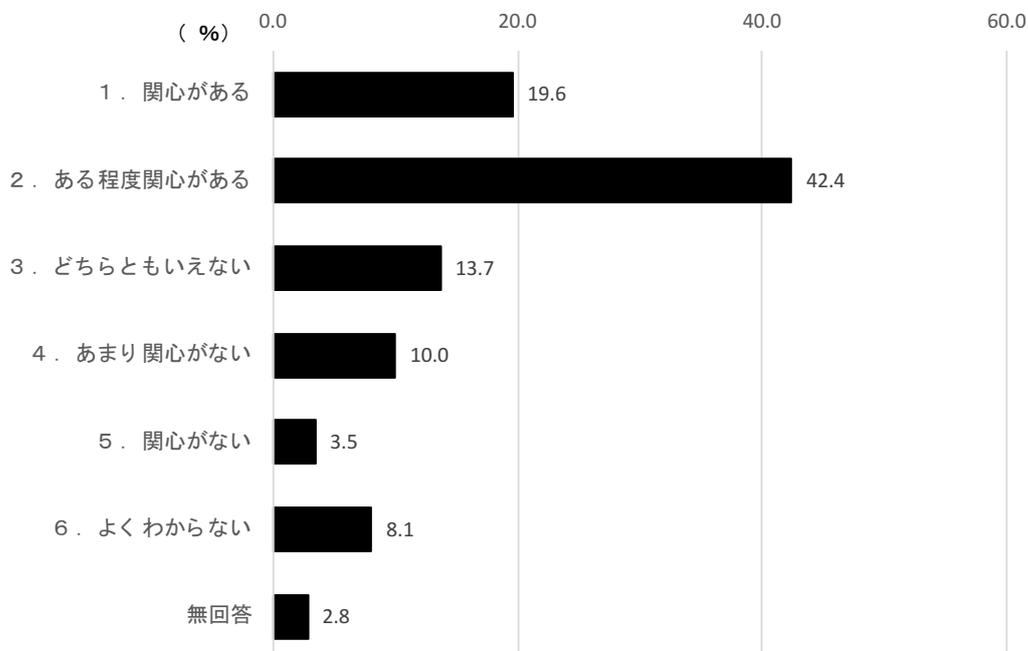
また、産業分野は、すべての施策が重要改善分野に該当している。

町政について

17. 町政にどの程度関心があるか

【全体】

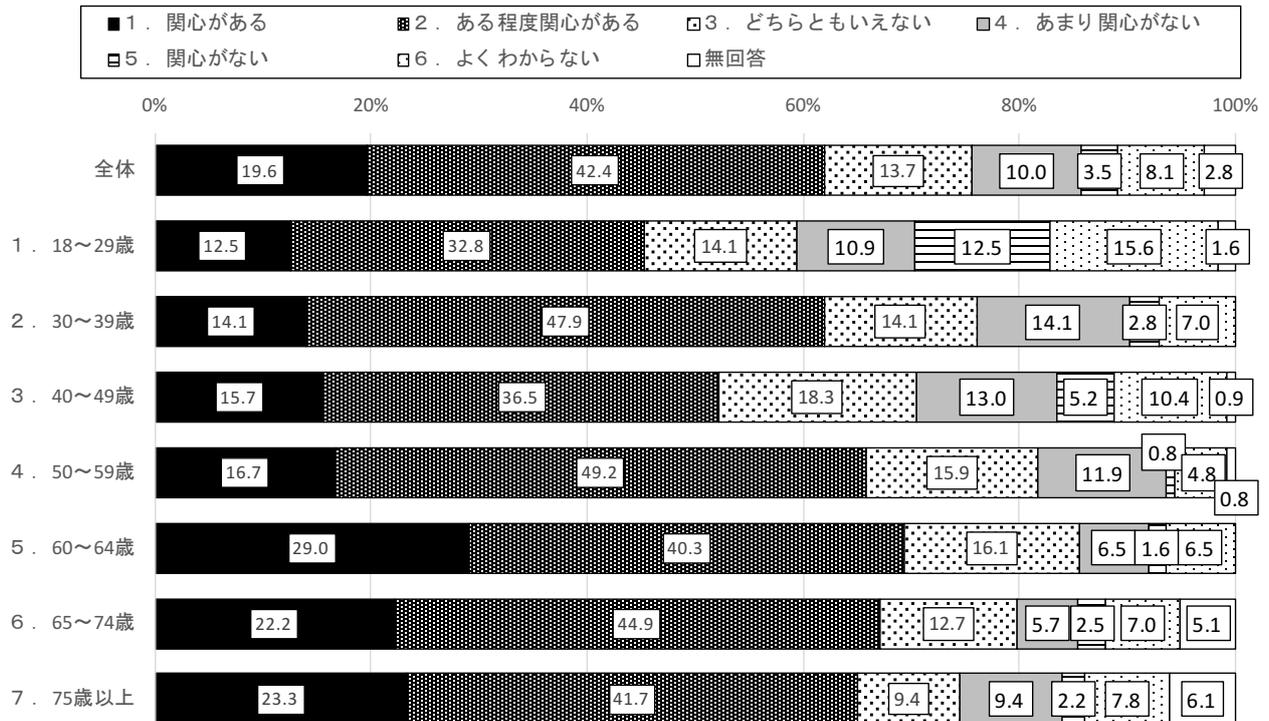
	人数(人)	割合(%)
1. 関心がある	153	19.6
2. ある程度関心がある	331	42.4
3. どちらともいえない	107	13.7
4. あまり関心がない	78	10.0
5. 関心がない	27	3.5
6. よくわからない	63	8.1
無回答	22	2.8
全体	781	100.0



回答者のうち、町政に関心がある方の割合(「関心がある」と「ある程度関心がある」の合計)は62.0%となっている。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)						
		1. 関心がある	2. ある程度関心がある	3. どちらともいえない	4. あまり関心がない	5. 関心がない	6. よくわからない	無回答
全体	781	19.6	42.4	13.7	10.0	3.5	8.1	2.8
1. 18～29歳	64	12.5	32.8	14.1	10.9	12.5	15.6	1.6
2. 30～39歳	71	14.1	47.9	14.1	14.1	2.8	7.0	0.0
3. 40～49歳	115	15.7	36.5	18.3	13.0	5.2	10.4	0.9
4. 50～59歳	126	16.7	49.2	15.9	11.9	0.8	4.8	0.8
5. 60～64歳	62	29.0	40.3	16.1	6.5	1.6	6.5	0.0
6. 65～74歳	158	22.2	44.9	12.7	5.7	2.5	7.0	5.1
7. 75歳以上	180	23.3	41.7	9.4	9.4	2.2	7.8	6.1

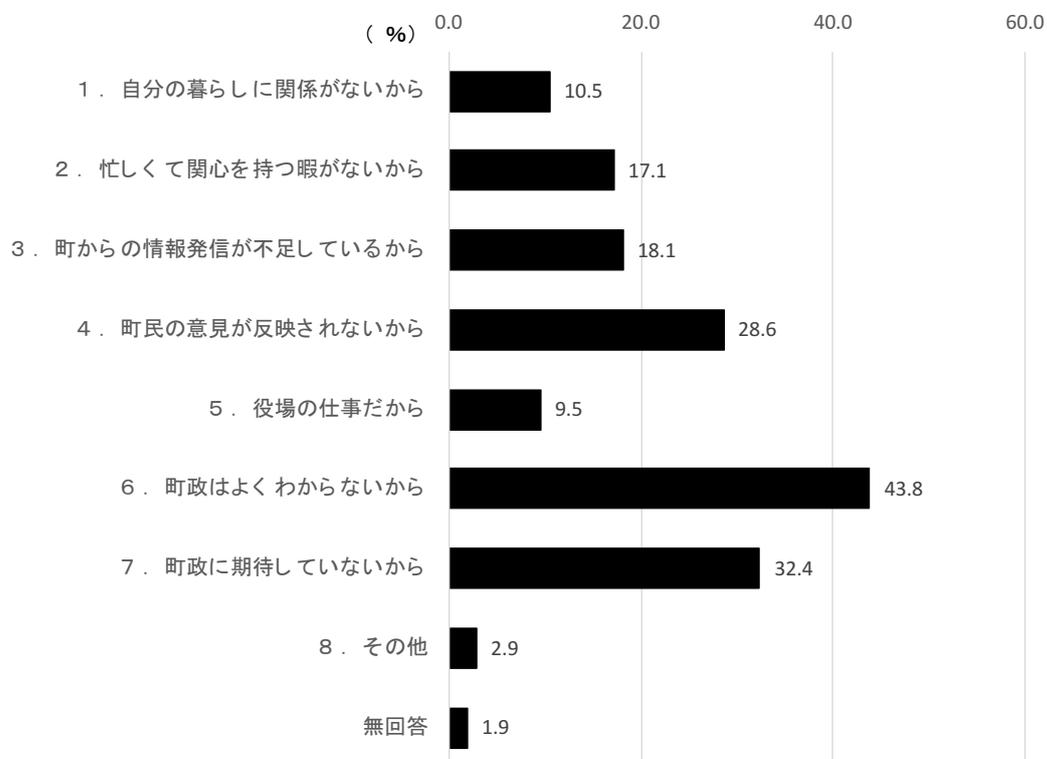


年齢層別にみると、18歳～29歳の町政への関心(「関心がある」と「ある程度関心がある」の合計)が特に低く45.3%となっている。また、最も町政に関心があったのは、60～64歳となっている。

17-1. 町政に関心がない理由

(「17. 町政にどの程度関心があるか」において選択肢4または5を回答した方を対象)

	人数(人)	割合(%)
1. 自分の暮らしに関係がないから	11	10.5
2. 忙しくて関心を持つ暇がないから	18	17.1
3. 町からの情報発信が不足しているから	19	18.1
4. 町民の意見が反映されないから	30	28.6
5. 役場の仕事だから	10	9.5
6. 町政はよくわからないから	46	43.8
7. 町政に期待していないから	34	32.4
8. その他	3	2.9
無回答	2	1.9
全体	105	



「町政はよくわからないから」と回答した方の割合が最も高く、ついで「町政に期待していないから」、
「町民の意見が反映されないから」と回答した方の割合が高くなっている。

まちの活性化について

18. 総合戦略の住民評価

(以下の3つの目標に対する取組みへの評価)

- ①江差ブランド製品づくりで仕事をつくる
(産業基盤を強化し雇用を創出する)

これまでの主な取組

- 江差町まちづくり推進交付金の創設(地域ブランド開発等支援)
- ふるさと納税特産品の充実
- 農・漁業機械等購入費助成
- 農業共済・漁船保険掛金助成
- がんばる商店街等応援補助
- 一×二×三業懇話会の開催

- ②江差文化体験交流づくりで仕事をつくる
(新たな人の流れをつくり出し雇用を創出する)

これまでの主な取組

- 北の江の島構想の策定
- 日本遺産の認定
- 江差町観光まちづくり協議会の設立(DMO 推進協議会)
- 一般社団法人北海道江差観光みらい機構設立(地域商社)
- 江差観光情報総合案内所設置(開陽丸施設内)

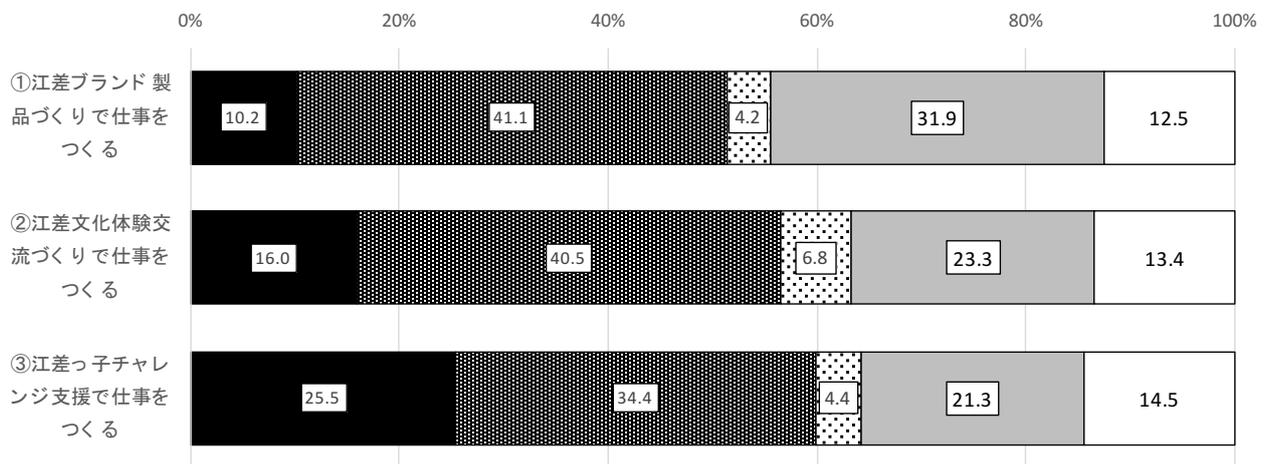
- ③江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる
(若者チャレンジを応援し雇用を創出する)

これまでの主な取組

- 江差町まちづくり推進交付金の創設(空き店舗等再生促進事業)
- 住宅リフォーム助成
- 子育て応援券の交付
- 学校給食費助成
- 第3子以降の保育料無償化
- 子どもの医療費助成

	①江差ブランド製品 づくりで仕事をつくる		②江差文化体験交流 づくりで仕事をつくる		③江差っ子チャレンジ 支援で仕事をつくる	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 取組みを評価しており、 成果も出ていると感じる	80	10.2	125	16.0	199	25.5
2. 取組みは評価するが、 成果は出ていないと感じる	321	41.1	316	40.5	269	34.4
3. 取組みを評価しないし、 成果も出ていないと感じる	33	4.2	53	6.8	34	4.4
4. 何をやっているのか、 よくわからない	249	31.9	182	23.3	166	21.3
無回答	98	12.5	105	13.4	113	14.5
全体	781	100.0	781	100.0	781	100.0

■ 1. 取組みを評価しており、成果も出ていると感じる
 ■ 2. 取組みは評価するが、成果は出ていないと感じる
 □ 3. 取組みを評価しないし、成果も出ていないと感じる
 □ 4. 何をやっているのか、よくわからない
 □ 無回答

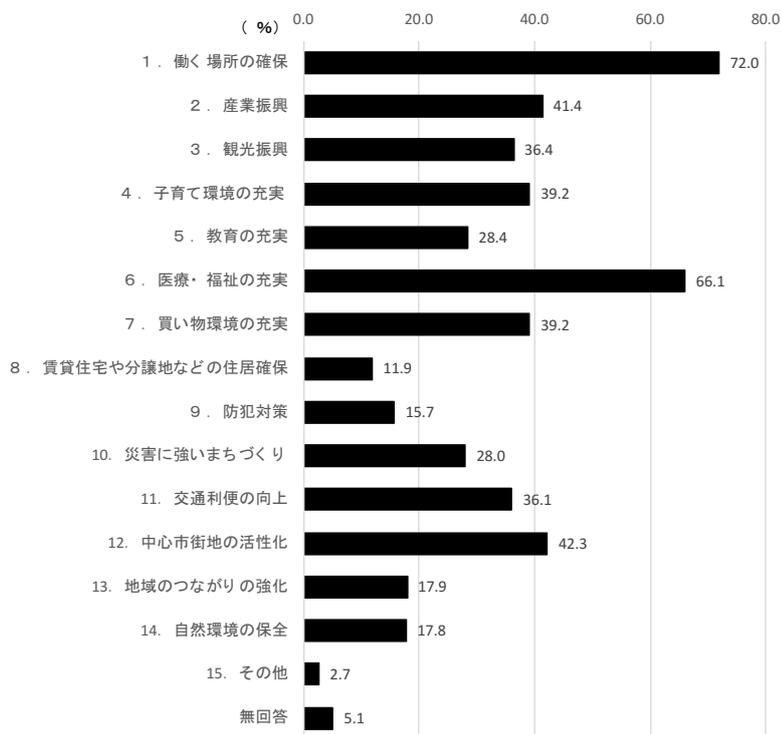


3つの目標の中で、住民の生活に直接的に影響する子育て支援等の取組みのある「江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる」の評価が最も高くなっている。

3つの目標いずれも、取組みを評価する(選択肢1と2の合計)と回答した割合は5割を超えています。その多くは、成果は出ていないと感じている。

19. まちの活性化のために必要な取組み

	人数(人)	割合(%)
1. 働く場所の確保	562	72.0
2. 産業振興	323	41.4
3. 観光振興	284	36.4
4. 子育て環境の充実	306	39.2
5. 教育の充実	222	28.4
6. 医療・福祉の充実	516	66.1
7. 買い物環境の充実	306	39.2
8. 賃貸住宅や分譲地などの住居確保	93	11.9
9. 防犯対策	123	15.7
10. 災害に強いまちづくり	219	28.0
11. 交通利便の向上	282	36.1
12. 中心市街地の活性化	330	42.3
13. 地域のつながりの強化	140	17.9
14. 自然環境の保全	139	17.8
15. その他	21	2.7
無回答	40	5.1
全体	781	



「働く場所の確保」を回答した方の割合が最も高く、ついで「医療・福祉の充実」と回答した方の割合が高くなっている。

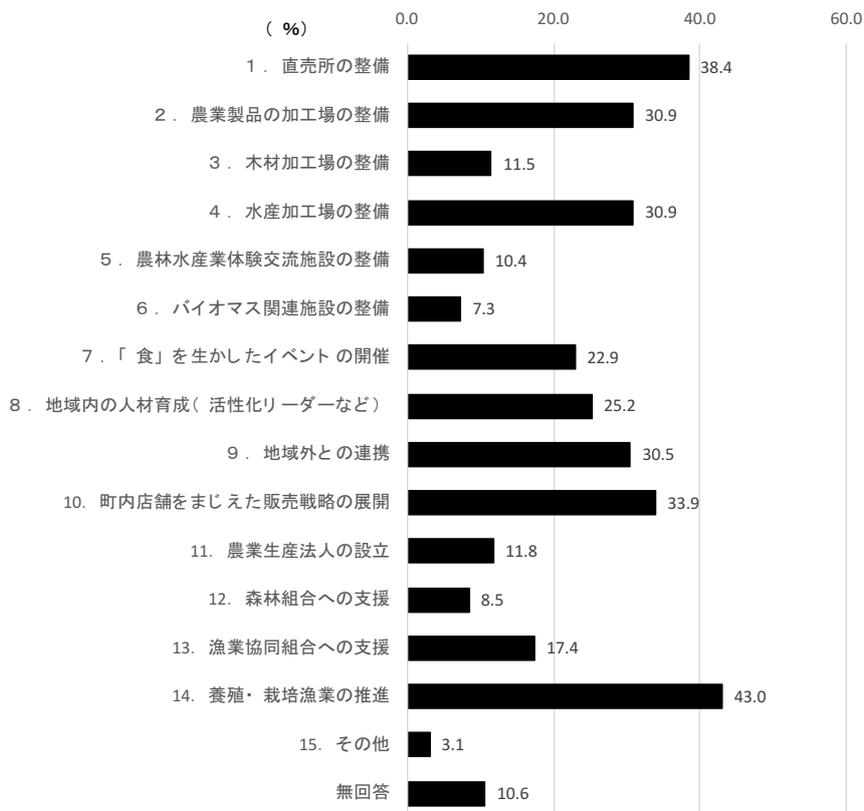
今後も、まちの活性化のためには、雇用創出を軸にして施策を考える必要性を、住民も感じていることがうかがえる。

・「その他」にあった主な意見

町民の意識改革
行政に頼らず地域が努力すること
伝統文化のさらなる活用

20. 地場の資源を活用した仕事づくりのために必要なこと

	人数(人)	割合(%)
1. 直売所の整備	300	38.4
2. 農業製品の加工場の整備	241	30.9
3. 木材加工場の整備	90	11.5
4. 水産加工場の整備	241	30.9
5. 農林水産業体験交流施設の整備	81	10.4
6. バイオマス関連施設の整備	57	7.3
7. 「食」を生かしたイベントの開催	179	22.9
8. 地域内の人材育成(活性化リーダーなど)	197	25.2
9. 地域外との連携	238	30.5
10. 町内店舗をまじえた販売戦略の展開	265	33.9
11. 農業生産法人の設立	92	11.8
12. 森林組合への支援	66	8.5
13. 漁業協同組合への支援	136	17.4
14. 養殖・栽培漁業の推進	336	43.0
15. その他	24	3.1
無回答	83	10.6
全体	781	



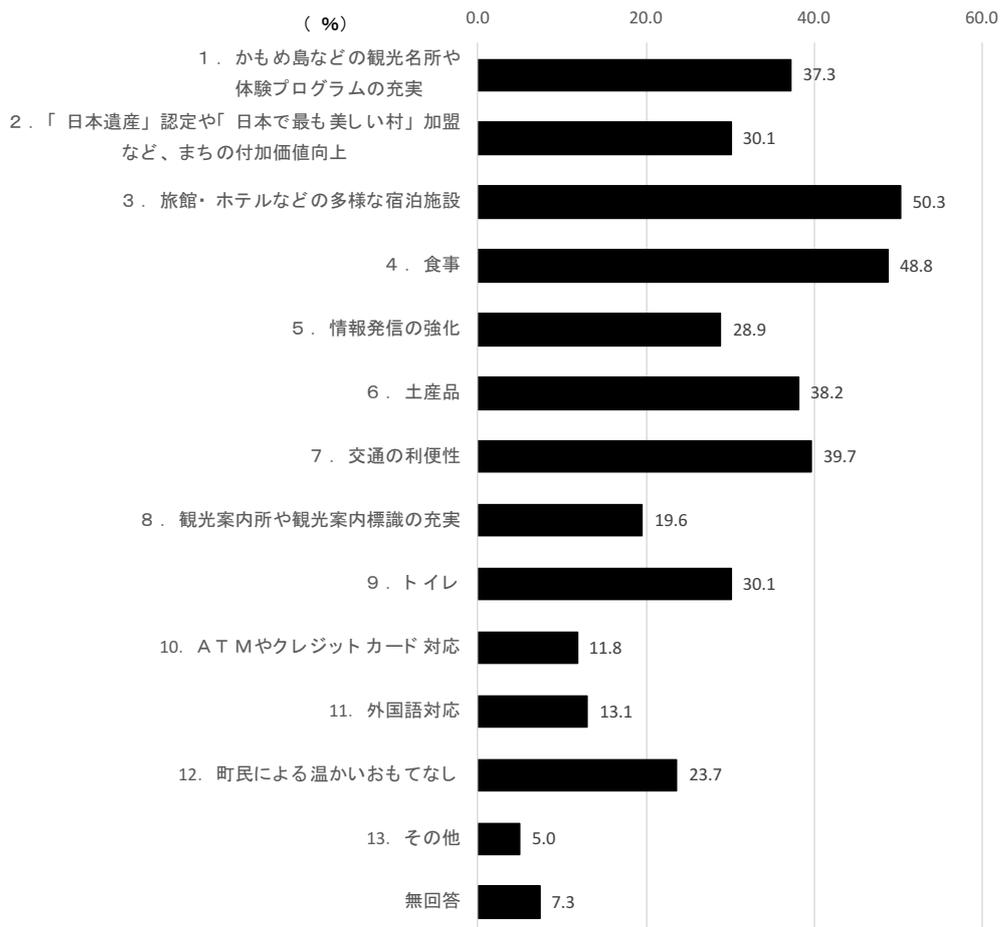
「養殖・栽培漁業の推進」を回答した方の割合が最も高く、ついで「直売所の整備」と回答した方の割合が高くなっている。

・「その他」にあった主な意見

農業の後継者確保
漁協、農協の連携

21. 観光振興に向けて、特に力を入れるべきこと

	人数(人)	割合(%)
1. かもめ島などの観光名所や体験プログラムの充実	291	37.3
2. 「日本遺産」認定や「日本で最も美しい村」加盟など、まちの付加価値向上	235	30.1
3. 旅館・ホテルなどの多様な宿泊施設	393	50.3
4. 食事	381	48.8
5. 情報発信の強化	226	28.9
6. 土産品	298	38.2
7. 交通の利便性	310	39.7
8. 観光案内所や観光案内標識の充実	153	19.6
9. トイレ	235	30.1
10. ATMやクレジットカード対応	92	11.8
11. 外国語対応	102	13.1
12. 町民による温かいおもてなし	185	23.7
13. その他	39	5.0
無回答	57	7.3
全体	781	



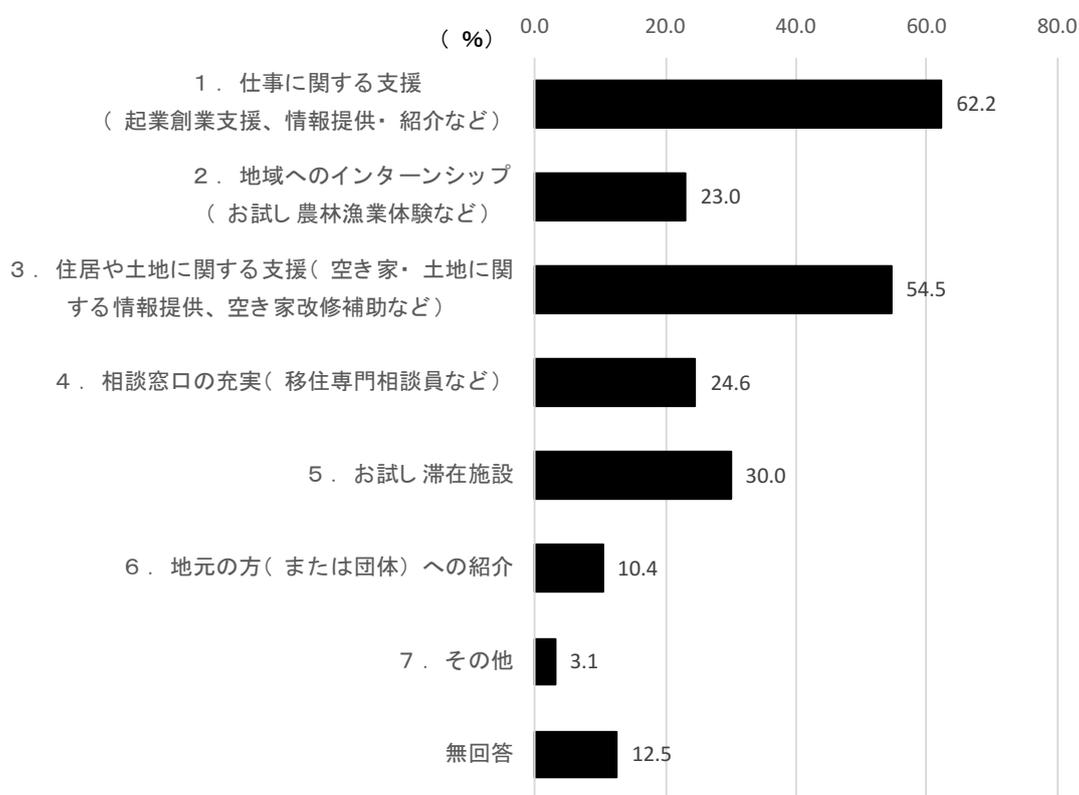
「旅館・ホテルなどの多様な宿泊施設」と回答した方の割合が最も高く、ついで「食事」と回答した方の割合が高くなっている。

・「その他」にあった主な意見

道の駅の改装、整備
かもめ島の環境整備と登りやすさの工夫
レジャー施設の整備
商店街の活性化
接客マナーを徹底すべき

22. 移住促進に向けて、特に力を入れるべきこと

	人数(人)	割合(%)
1. 仕事に関する支援(起業創業支援、情報提供・紹介など)	486	62.2
2. 地域へのインターンシップ(お試し農林漁業体験など)	180	23.0
3. 住居や土地に関する支援 (空き家・土地に関する情報提供、空き家改修補助など)	426	54.5
4. 相談窓口の充実(移住専門相談員など)	192	24.6
5. お試し滞在施設	234	30.0
6. 地元の方(または団体)への紹介	81	10.4
7. その他	24	3.1
無回答	98	12.5
全体	781	



「仕事に関する支援」と回答した方の割合が最も高く、ついで「住居や土地に関する支援」と回答した方の割合が高くなっている。

・「その他」にあった主な意見

子育てしやすい環境を整備し、発信する